

# 令和3年度 益田市 20地区取組状況

20地区の取組を  
まるごと紹介！



益田市政策企画局連携のまちづくり推進課

# 島根県益田市益田地区

地域づくりのテーマ:『ひと・まち・歴史の鼓動を感じるまち』



左: 妙義寺の春を渡る  
下: もみじさん 真っ赤だね!!



日本遺産認定を契機に益田地区の良さを再発見してもらおうとフォトコンテストを春、秋に開催。出かけるきっかけになり、写真を撮る事で今まで意識しなかった「いつもの風景」の素晴らしさに気付いた。応募作品はホームページで発信。

## ①地区の概要

【地区の現況】(令和4年1月末現在)

28自治会 2,741世帯 人口5,878人 高齢化率33.8%

## 【地区の魅力】

益田地区は、中世鎌倉時代から戦国時代まで益田氏の城下町として栄え、歴史・文化遺産の多い地区で「七尾城跡」「三宅御土居」や名勝雪舟庭園2カ所を含めた12の日本遺産構成文化財がある。また、警察署や県合同庁舎などの公的機関があるほか、高等学校が3校、高等看護学院がある文教地区でもあります。

## 【地区の課題】

- 人口減少及び高齢化
- 商店の減少
- 自治会役員の担い手不足、伝統行事の後継者不足
- 地区の歴史・文化に対する認識不足

## ②実施団体の概要

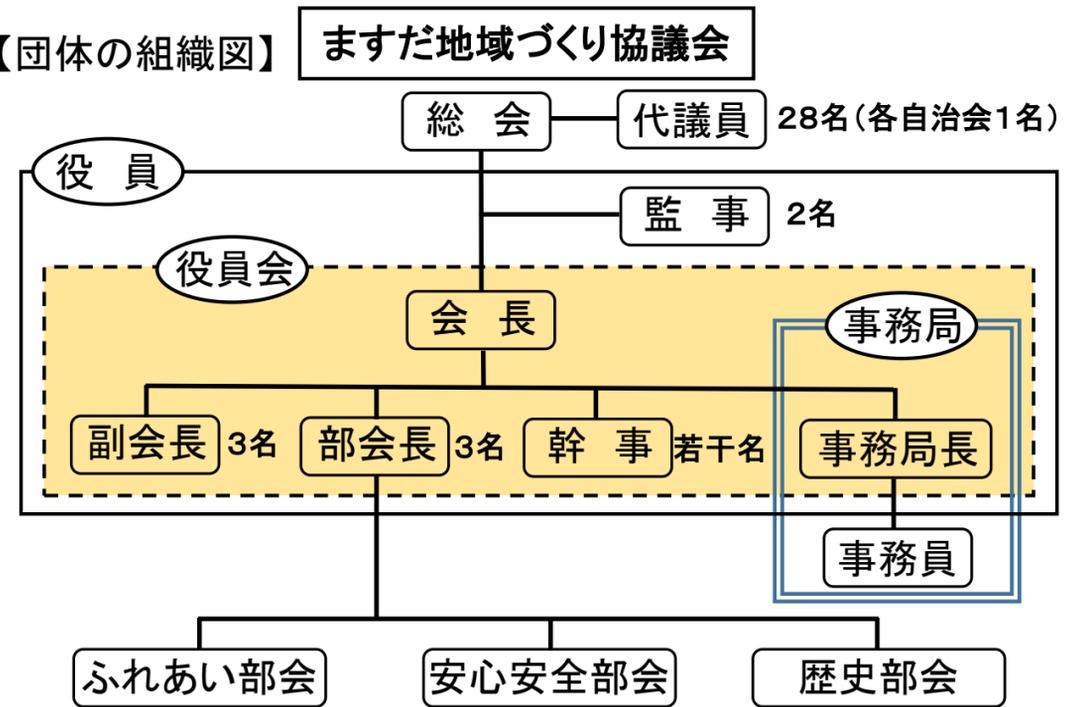
### 【団体の名称】

ますだ地域づくり協議会 (R01.09.01設立)

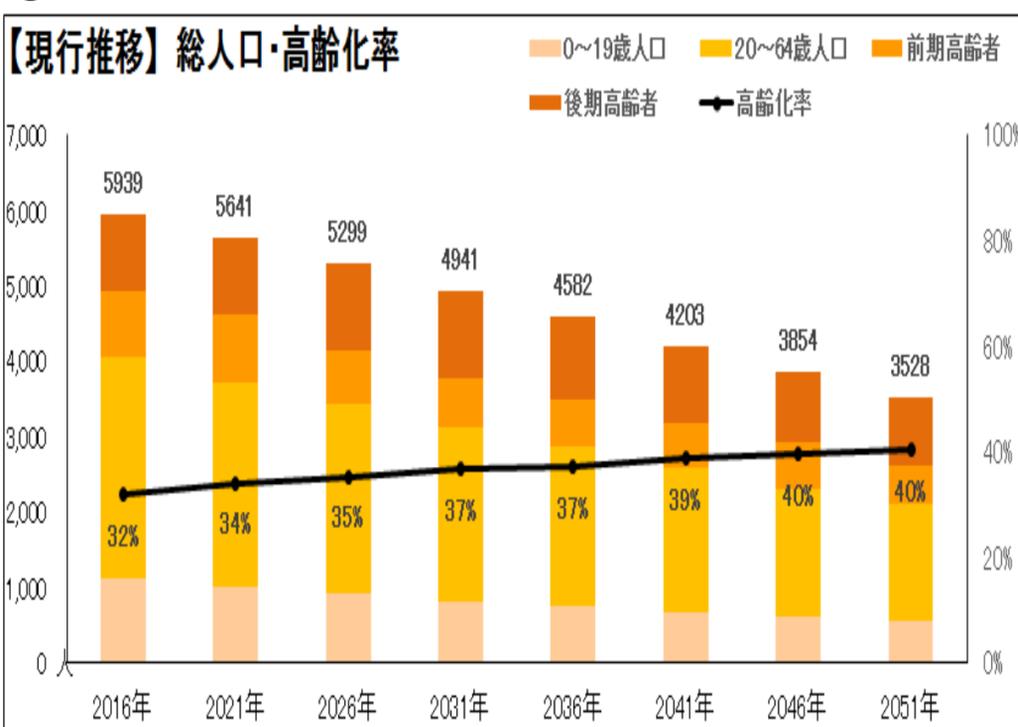
### 【役員・部会員選出団体】

- 益田地区自治会連合会
- 益田地区社会福祉協議会
- 益田地区民生児童委員協議会
- 益田商店会
- 益田小学校PTA
- 益田東中学校PTA
- 益田地区老人クラブ連合会
- 益田地区つろうて子育て協議会
- 生き生き益田の会
- 消防団益田第1分団
- 益田地区食生活改善推進協議会

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)



資料: 島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

- 日本遺産フォトコンテスト(春)(秋)
- 日本遺産認定記念スタンプラリー
- 協議会だより、ホームページ、facebookによる情報発信



【団体長メッセージ】本年度は、各部会の事業計画に基づいて活動してきました。歴史部会が中心となって「日本遺産認定記念スタンプラリー」を開催。益田東中学校1年生全員の協力を得て、地域の歴史を再認識する有意義な活動でした。ふれあい部会は、交通・移動手段に困っている人への聞き取り調査を行いました。安心安全部会は、逃げ遅れゼロを目指し「益田地区豪雨・水害時避難所マップ」の修正を行い全戸に配布。今後も、今以上に住み良い地域の実現に向けて、各部会の様々な意見を集約し、行動に移してまいります。

ますだ地域づくり協議会 会長 右田 明

# 島根県益田市益田地区

## ⑤こんなことが話し合われています



**役員会**  
役員会は各部会の活動報告、部会間の調整、最終的な意思決定の場として機能している。部会のスムーズな活動を支援する事で成果を上げ、重要な事柄については、役員会で意思決定する。



**ふれあい部会**  
実際にふれあう事業が開催出来ない中で、インターネットを活用した情報発信を行っている。今年度からふれあい部会が「益小プロジェクト」を担当する。また、交通・移動困難者への聞き取り調査も実施。

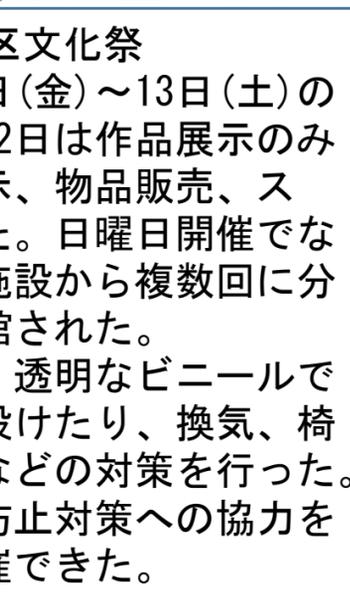
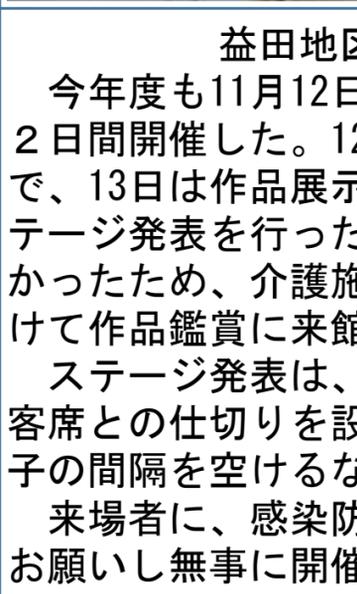


**歴史部会**  
部会で作製した日本遺産構成文化財地図を活用した企画を中心に活動を進めている。フォトコンテストの開催、「日本遺産認定記念スタンプラリー」は歴史部会が中心になって協議を行い準備を進めた。



**安心安全部会**  
昨年度は、自主防災組織設立への第一段階として「豪雨・水害時避難所マップ」を作製・全戸配布。今年度は、自主防災組織について、情報収集と部会員の勉強会を実施。避難所マップを見直し、第2版を配布した。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



### 益田地区文化祭

今年度も11月12日(金)～13日(土)の2日間開催した。12日は作品展示のみで、13日は作品展示、物品販売、ステージ発表を行った。日曜日開催でなかったため、介護施設から複数回に分けて作品鑑賞に来館された。ステージ発表は、透明なビニールで客席との仕切りを設けたり、換気、椅子の間隔を空けるなどの対策を行った。来場者に、感染防止対策への協力をお願いし無事に開催できた。

**日本遺産認定記念スタンプラリー**  
地域自治組織と益田東中学校が協働して「日本遺産認定記念スタンプラリー」を開催。中学1年生全員(79名)がガイド役やスタッフとして参画。歴史部会を中心に地区内の団体や個人と一緒に活動した。感染対策のため、定員を100名とし、五月雨式のスタート、ゴール方式にした事で密を回避できスムーズに運営できた。中学生の保護者が興味を持って、多数参加されたのが良かった。

### 益小プロジェクト

益田小学校6年生有志が中心となり、大人と一緒に活動する「益田地区をもっと幸せにしようプロジェクト」は4年目を迎えた。今年は、「笑顔になったら幸せ」「みんなが誰とでも挨拶ができて笑顔になったら幸せ」を実現するために、スタンプラリーとポッチャを企画した。大人と一緒に自分たちで考え、試してみ、当日はホスト役になって参加者をもてなすための計画を立てたが実施が延期となった。

〒698-0005  
益田市本町6番8号

お問い合わせ先

ますだ地域づくり協議会(益田公民館内)  
Tel. Fax 23-5752(益田公民館)  
URL: <https://www.masuda-tiikidukuri.com/>

# 島根県益田市吉田地区

地域づくりのテーマ: 元気いっぱいひとがつながるまち吉田



## ①地区の概要

### 【地域の現況】

人口14,069人、高齢化率31.6%(令和4年1月末現在)

人口、世帯数、自治会数、いずれも益田で一番多い地区です。予測では、将来もほぼ同じ人口と高齢化率が維持されます。

### 【地区の魅力】

益田市役所本庁をはじめ各種行政機関や金融機関、益田赤十字病院や個人医療機関、文化施設や小中学校、商店街や個人商店が多くあり、生活するうえで利便性の高い地区です。

また、高津川、益田川、日本海に面しており、自然との共存もできています。

### 【地区の課題】

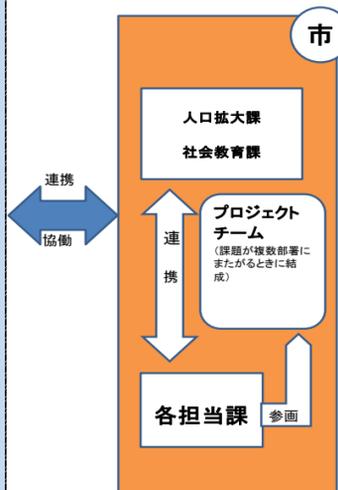
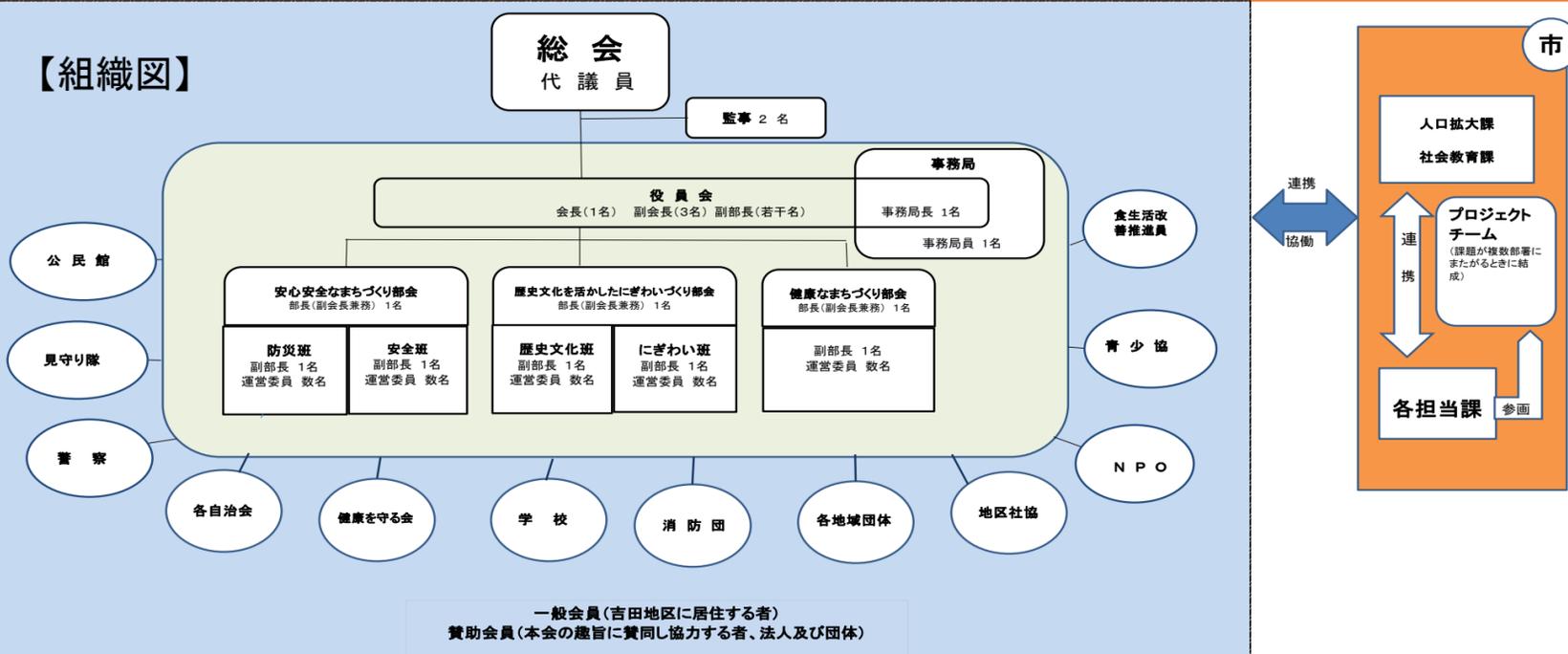
吉田地区は、昨今の異常気象の影響による二つの川の氾濫が心配されます。また、交通量が多く、通学路にも危険な箇所があります。その他、アパート・マンション等の増加や核家族化により、隣人関係が希薄化しているため、地縁による地域運営が難しくなっています。

## ②実施団体の概要

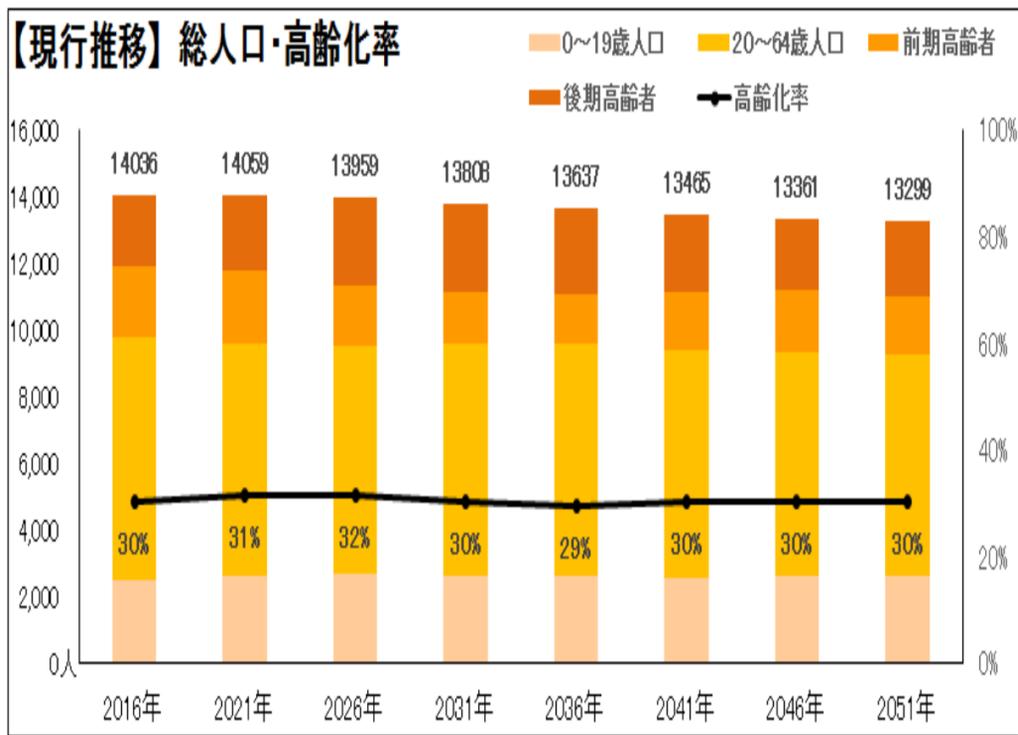
### 【団体の名称】

「吉田地区自治協議会」

### 【組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)



資料：島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

令和3年4月6日、益田市より地域自治組織の認定を受け、活動を開始しました。

安心安全なまちづくり部会防災班では吉田地区防災協議会を設立し、自治会の避難訓練支援など、豪雨災害を想定した避難を強化する取り組みをしています。また同部会安全班では、吉田地区内の子どもたちが安全に登下校できるように、見守り活動を支援する取り組みを始めました。

健康なまちづくり部会では、健康ウォーキングを普及させる取り組みを始め、ウォーキングイベントを開催したり、地区内各所のウォーキングマップを作成しました。

歴史文化を活かしたにぎわいづくり部会歴史文化班では、特に日本遺産関連の史跡を中心に実地調査や住民への周知活動を行いました。

同部会にぎわい班では、「にぎわいを作る人を作る」活動を始め、ワークショップやイベント出店などを行いました。

### 【団体長メッセージ】

皆様のおかげで、令和3年1月に吉田地区自治協議会を設立することができました。しかしながら本年度はコロナウィルス感染症の影響で、いくつかのイベントが中止となり、大変ご迷惑をおかけしました。そのような中でも3つの部会で話し合い活動してきたところ、多くの皆様にご参加いただき大変うれしく思います。今後も、地域を良くしようと考え、参加して話し合い、行動・活動する場を作ってまいりますので、皆様のご協力をお願いします。



# 島根県益田市吉田地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### 【防災班】

- ・避難所が同じ自治会の合同防災訓練の支援
- ・自治会の枠を超えた避難協力体制づくり
- ・個人の避難計画について考える
- ・防災備品の購入



### 【安全班】

- ・通学路の見守り活動グループについて現況を調査し、可能な支援について協議
- ・小中学校からの通学路改善要望を取りまとめ



### 【健康づくり部会 & 歴史文化班】

- ・「吉田の町再発見!! 健康ウォーキングコース」の測定とマップの作成
- ・「雪舟山水郷健康ウォーキング」の開催(5月延期⇒11月開催)



### 【にぎわい班】

- ・人の交流とにぎわいの創出について意見交換
- ・「にぎわいを作る人を作る」ワークショップの開催

## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### 元町・南町合同防災訓練



9月19日(日)、元町自治会と南町自治会の合同避難訓練を開催し、114名が参加しました。

### 防災研修「マイ・タイムラインを作ろう！」



12月5日(日)、国土交通省浜田河川事務所との共催で防災研修「マイ・タイムラインを作ろう！」を開催。各自治会から防災担当者27名が参加しました。

### 吉田の町再発見!!健康ウォーキング



11月7日(日)、雪舟山水郷周辺の3kmコース(運動公園⇒雪舟の郷記念館⇒小丸山古墳⇒雪舟の墓・大喜庵⇒今市船着場跡⇒島田家住居・酒蔵)を51名で歩きました。史跡では、文化財課の職員さんから詳しい説明を聞きました。当日は、一般参加者の他、益田中学校の生徒たちも参加し、受付のお手伝いをしてくれました。

### にぎわいチャレンジ!



吉田地区に「にぎわい」を取り戻したい! 交流を通してみんなとつながりたい! という思いから、「にぎわいチャレンジ!」をスタートしました。

本年度はイベント企画力をつけるためにワークショップでノウハウを学び、「来ぶらりマルシェ」や「日本遺産マルシェ」に出店しました。今後は「にぎわいづくり」の仲間を増やして、吉田地区を盛り上げていきたいと考えています。

お問い合わせ先

名称: 吉田地区自治協議会  
 住所: 〒698-0033 島根県益田市元町11-26 吉田公民館内  
 電話: 080-8040-2060  
 メール: yoshidajichi@kba.biglobe.ne.jp

HP: <http://yoshidajichi.com>



# 島根県益田市高津地区

地域づくりのテーマ：高津っ子の住みよいまちづくり



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口7,980人、高齢化率37.4%(令和4年1月末時点)  
山・川・海に囲まれた自然豊かな地区です。

### 【地区の魅力】

自然豊かでありながらも、生活に必要な施設・設備も整っており、とても暮らしやすい地区です。又、活動団体も多く地区の行事も活発です。

小学校1、中学校1、高校1、高等技術校1、保育園4、があり教育機関も充実したまちです。

### 【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、諸団体等の後継者不足、人間関係の希薄化等、様々な分野で問題・課題を抱えています。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

「万葉の里 高津未来の会」

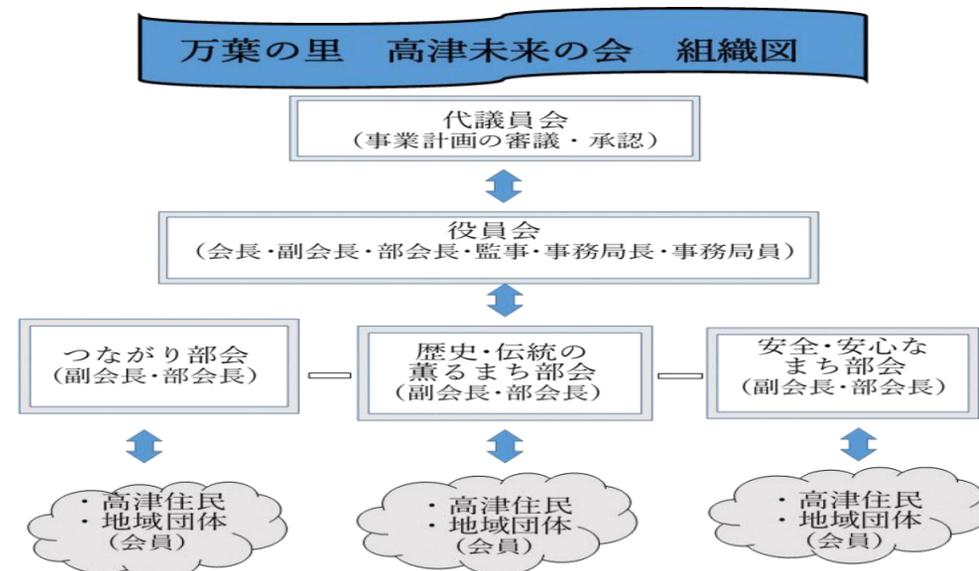
「ロゴマーク作製」



### 【構成団体、構成員】

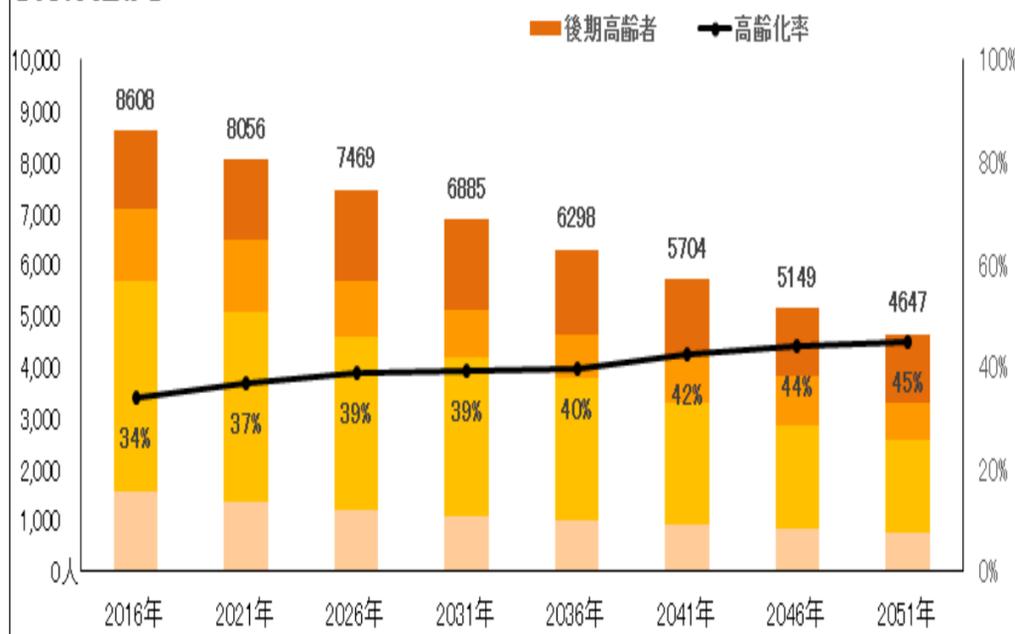
- ・高津地区住民
- ・各種団体
- ・各種団体から代議員20名
- ・公募より代議員4名
- ・役員(会長1名、副会長3名、部会長3名、監事2名)

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

☆会報を発行し地区内に回覧。その他にも、会議・行事等の様子もその都度インスタグラム・フェイスブック・告知端末放送を活用し、より幅広い世代へと情報発信に努めている。

☆公民館活動と並行して、講座や事業に取り組んだ。

☆中・高生が和太鼓で地域に元気を与えた。

☆地域に埋もれた歴史的文化遺産等の発掘・見える化。

☆地域の歴史・伝統文化(ひと・もの・こと)をデジタル化し、記録保存。

☆アンケートを実施し、地域の課題・本会への要望等を洗い出した。



### 【会長よりメッセージ】

発足1年目、手探りの中、また、コロナ禍も相まって思うにまかせない活動となってしまいました。その中であって、市の特別補助金の助成をいただき、事業が実施でき、活動の実感を得ることができました。3つの事業(安全で安心して暮らせるまちづくり事業・高津蠟座石臼改修工事及び案内板設置事業・ふるさと教育デジタルアーカイブ事業)が実施でき、活動の実感を得ることができました。

# 島根県益田市高津地区

## ⑤こんなことが話し合われています



○4月に認定式が行われ、認定書をいただきました。

○役員会を8回行いました。(1月末現在)  
○各部会会議は、各部会ごとに必要に応じ開催。役員会で、情報共有を行ない事業を実施した。



地域づくりの中核である連合自治会の自治会長さんへ、自治会長会の場を借りて趣旨説明を行った。



○意見交換会

アンケート調査の回答の中で、会の趣旨が分からないという意見があり、再度説明会を開催。対話の場をもち、意見交換を行った。



○歴史伝統文化の薫るまち部会  
× 県 大

専門家によるデジタルアーカイブに関する知識・スキルの研修会講師を依頼し、今後の打ち合わせを実施。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています

連合自治会長会にて  
「趣旨説明」



通学路の危険箇所除去作業「土入れ」



まちづくり活動特別補助金審査会



3事業を申請

意見交換会

本会の趣旨や活動の様子をお話し、意見交換を行った。



要望書提出

松ヶ丘浜寄線「減速対策・歩道設置」を連合自治会長と共に届けた。



ふるさと教育デジタルアーカイブ事業  
× 県 大  
(打合せ)



登下校の見守り



毎日の見守りの様子

安全で安心して暮らせるまちづくり事業

( 持石・三里ヶ浜 防犯カメラ設置)



高津蠟座石臼改修工事及び案内板設置事業



お問い合わせ先

名称: 万葉の里 高津未来の会  
住所: 〒698-0041  
島根県益田市高津2-5-2(高津公民館内)  
電話: 0856-23-1791

☆高津公民館と共に情報発信しています。



# 島根県益田市安田地区

地域づくりのテーマ:「地域資源を生かした、生き生きとした住みやすい安田」



年末開催のイルミネーションは大好評。

## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口3,525人、高齢化率39.0%(令和4年1月末現在)  
益田市内での高齢化率は吉田、益田、高津、豊川地区に次いで5番目に低い地区ですが、年々高齢化率が上昇しています。

### 【地区の魅力】

「地域お助け隊事業」は草刈、剪定、伐採など有償で支援し、「パンカフェ運営事業」は石見津田駅でパンカフェを営業。津田地区では月に二回地区内のスーパーでの買物支援を行っています。

### 【地区の課題】

高齢化と核家族化が益々進み、日々の買い物や通院がままならない世帯が増え、社会的扶助制度が急務となっています。又、空き家も増えていますが、残留家財の整理ができず、そのままとなっている建物がほとんどで、貸家を探している人はいても売却も賃貸も進んでいません。住環境の悪化が懸念されます。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

一般社団法人安田地域づくり協議会

### 【構成団体、構成員】

安田地区連合自治会、安田公民館

市議会議員

農業委員、土地改良区安田支部

安田地区健康と福祉をすすめる会

安田地区社会福祉協議会

JA、つろうて子育て協議会

安田婦人会、安田ボランティア協議会

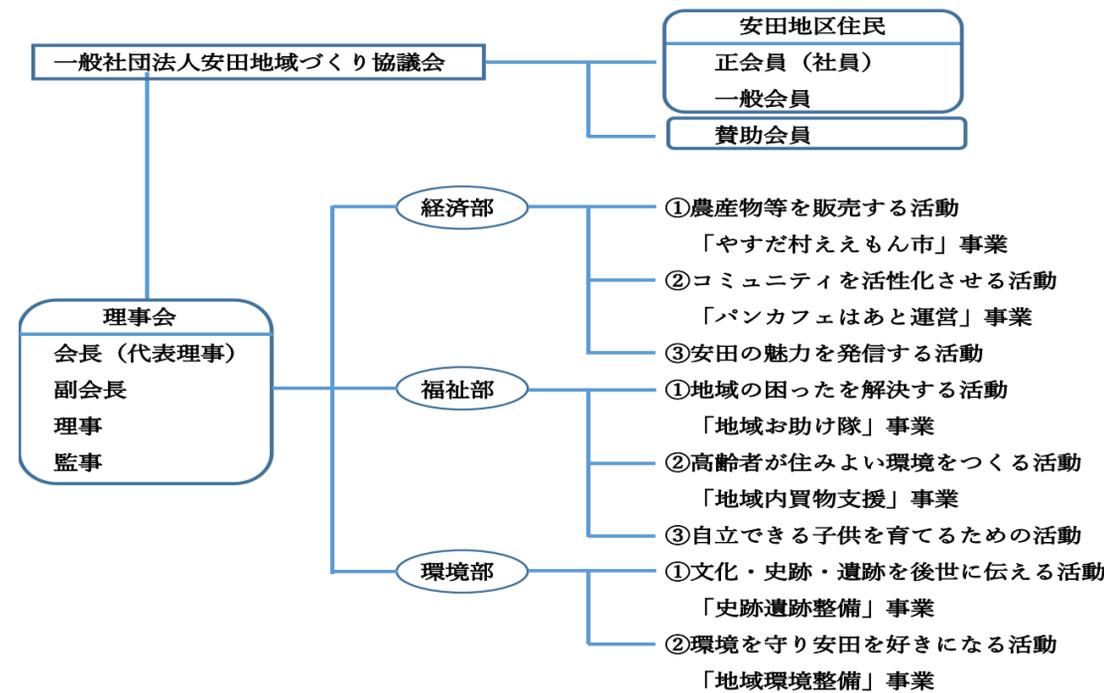
安田地区老人クラブ連合会

消防団安田分団

オヤジーズ

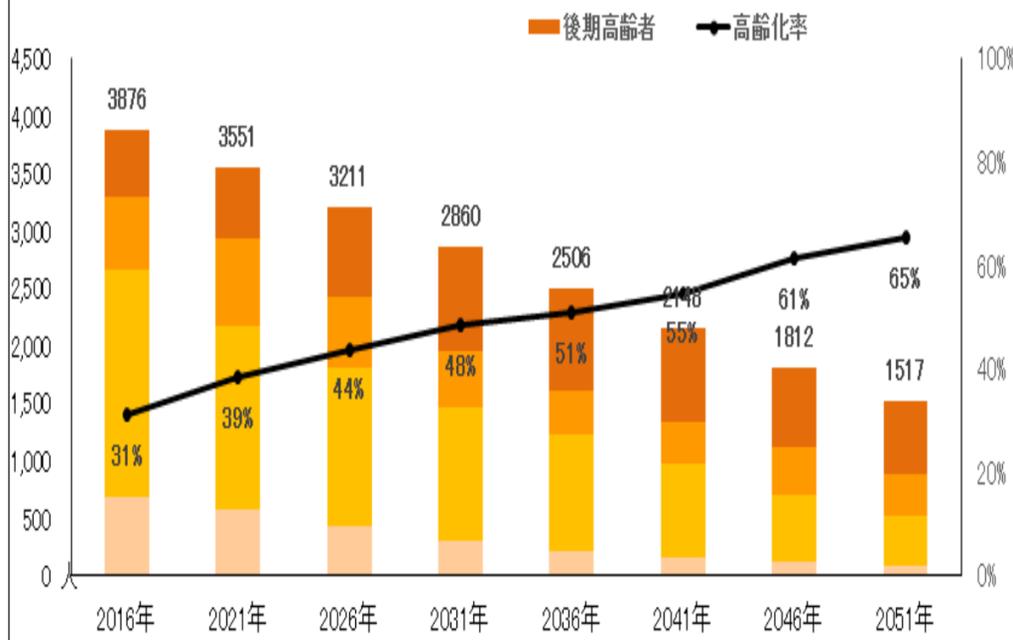
個人(地域住民)など

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

### 1. やすだ村ええもん市事業

安田地区で生産された農作物、手作り品などの販売を通して農作物の生産、加工、独自商品の開発などを行い地域住民の生産意欲を高めるとともに地域活性化を図ります。

### 2. パンカフェ運営で地域のコミュニティの活性化を図ります。

### 3. 地域お助け隊事業

地域住民に代わって有償で草刈り作業などを行い、安心して暮らせる環境づくりと所得向上、働き甲斐づくりに繋がります。

### 4. 地域内買物支援事業

福祉施設の車を利用して、移動手段を持たない高齢者のスーパーでの買物支援を実施します。

### 5. 史跡・遺跡整備事業

旧山陰道の整備を行い、歴史の伝承に取り組み、保存してきた先駆者の業績を周知し、地域の方に誇りと感心を持たせます。

### 6. 地域環境整備事業

地域の環境美化を進め、明るく快適に過ごせる環境を創ります。



### 【団体長メッセージ】

(一社)安田地域づくり協議会設立以来順調に活動を熟しながら5年を迎え、暮らしをサポートする事業への需要が高まってきた。お助け隊による除草、樹木伐採、庭木剪定、高齢者の地域内買物支援事業等は引く手数多である。伝統のやすだ村ええもん市はコロナ感染対策で開催が難しく、津田駅での土曜朝市で急場を凌いできた。地区民の協力を頂いたイルミネーション制作は、住みやすい安田のシンボルとして年末1カ月間公民館前庭を灯すことができ、土日は近郷近在から来観者があった。

# 島根県益田市安田地区

## ⑤こんなことが話し合われています



**(一社)安田地域づくり協議会総会**  
令和3年6月16日 参加者:34名

- ・令和2年度の実績及び決算報告、監査報告
- ・令和3年度の事業計画及び予算
- ・その他



**イルミネーション点灯**

- ・昨年から2回目の開催
- ・公民館事業に協賛して、県大生、高校生、中学生、地域住民の協力で作りました。
- ・11月20日から12月26日まで点灯



**(一社)安田地域づくり協議会臨時役員会**  
令和3年11月1日 参加者:9名

- ・今年度中間決算の概要報告
- ・パンカフェはあとの今後について
- ・五カ年活動計画策定について
- ・新電力への契約変更について



**竹灯籠イベント**

- ・津田海岸で竹灯籠を点灯
- ・浜田県立大学生Relie、中学生ボランティア地域の皆さんにお手伝いを頂きました。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



**①「やすだ村ええもん市」事業**  
新型コロナウイルス蔓延防止のためすべて中止。その代わりに石見津田駅で野菜市開催《開催日》土曜日の9:30~11:00  
4/24から5月を除いて毎月末開催

**②「地域お助け隊」事業**

- ・草刈・庭木剪定・伐採・墓地清掃他の請負
- ・4月~12月受注件数:96件
- ・登録作業員:男性17名、女性5名

**③「史跡・遺跡整備」事業**

- ・旧山陰道・丸山公園の草刈作業
- ・年二回実施:6/27 参加者:37名  
10/17 参加者:37名



**④「地域環境整備」事業**

- ・遠田川、嶽川河川敷草刈・漂流物回収

**⑤「パンカフェ運営」事業**

- ・石見津田駅で「パンカフェはあと」の営業は四年目になりましたが、都合により12/25で閉店しました。今後は新しいスタッフの準備が整い次第、手作りパンの店を再開します。

**⑥「地域内買物支援」事業**

- ・福祉施設の車を利用して、移動手段を持たない津田地区の高齢者などを連れて、地域内のスーパーでの買物を支援(月二回)しています。

お問い合わせ先

〒699-3676  
益田市遠田町384番地2  
一般社団法人安田地域づくり協議会  
TEL (FAX共用) 0856-27-0001

# 島根県益田市鎌手地区

地域づくりのテーマ: 地域資源を活かし「住みよい」鎌手



## ①地区の概要

【地区の現況】(令和4年1月末時点)

総世帯数: 667世帯  
人口: 1439人  
高齢化率: 49.0%

## 【地区の魅力】

水仙の花咲き乱れる唐音水仙公園、夕日の映える大浜海岸等、魅力あふれる自然に恵まれ、春夏秋冬、それぞれに合った美しい景観を、1年を通してみることができる。

## 【地区の課題】

高齢者が多く、地区に残る若年層が薄いため、伝統的な技術や地区にまつわる知識の消失が危ぶまれる。  
高島、旧鎌手中学校等、魅力的な土地資源はあるが、自由に活用することができず、持ち腐れとなっている。

## ②実施団体の概要

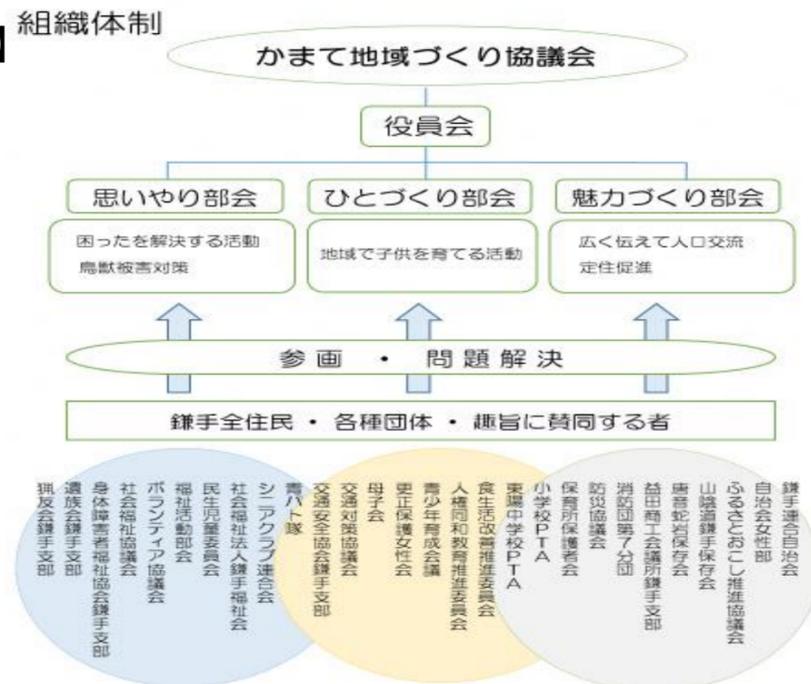
【団体の名称】

かまて地域づくり協議会

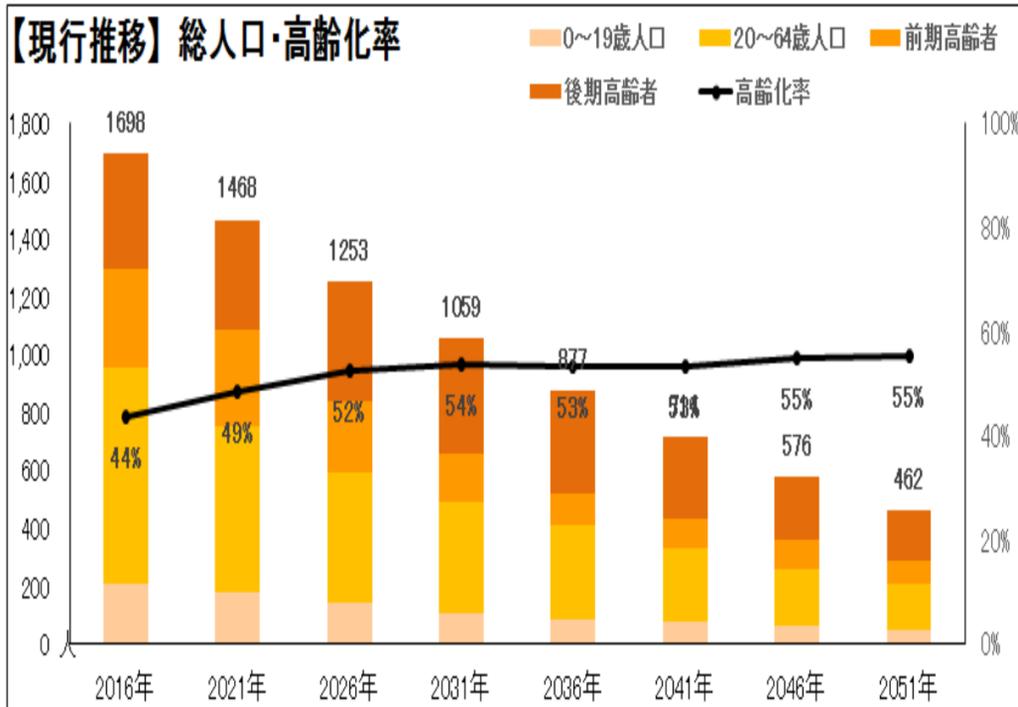
【構成団体、構成員】

- ・代議員 28名
- ・役員 9名  
(会長1名、副会長2名、会計1名、部会長3名、監査2名)
- ・部会員
  - 思いやり部会 41名
  - 人づくり部会 7名
  - 魅力づくり部会 22名

【団体の組織図】 組織体制



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)



資料: 島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

ユタラボ主催「ミライツクルプロジェクト」。旧鎌手中学校のグラウンドにて、焚き火を囲みながら中学校跡地の活用方法について地元の高校生と語り合う様子。



## 【団体長メッセージ】

市や地域の皆さんの協力を得て「住みよい」鎌手を目指して2年になりました。コロナ禍で多くの地域イベントが中止になっている中、「思いやり部会」ではお助け隊による草刈りや買い物支援活動など、「ひとづくり部会」では子ども110番マップの配布やマナビヤ(子どもと大人の交流会)、また「魅力づくり部会」ではサップや釣り体験、星座観賞会や焚き火とコーヒーワークショップなど交流を中心にした活動が順調に進みだしました。情報の発信を工夫して部会員の募集や多くの方の参加をいただいて「住みよい」鎌手の体験をしていただきたいと思います。

# 島根県益田市鎌手地区

## ⑤こんなことが話し合われています



**思いやり部会**  
鎌手地区内に住む買い物や病院への移動に困っている人々を支援できないか検討。社会福祉協議会で申請し利用できる福祉バスを活用できるのではとの意見。利用に向け協議を進める。



**ひとづくり部会**  
部会の活動として芋ほり体験会などができないかと議題に挙がり、地元の農業者を招いて検討する様子。企画自体は悪天候により中止となったが、今後の活動方針を決めるにあたり、非常に参考となる会議であった。



**魅力づくり部会**  
特別補助金事業の内容を検討する様子。SUP、釣り、焚き火、星座観賞といったレジャー内容が挙がり、それらすべてを実施することで、1年を通して鎌手の自然の魅力に参加者に体験してもらう事業として、進めていくこととなった。



**第二回、定期総会**  
昨年の活動実績や活動内容の写真をスライドショーにして映像を流したところ、出席していた代議員の方々より、とても分かりやすかったという声をいただいた。今後の定期総会でも活用していく予定。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



思いやり部会、移動困難者の支援を考える会による、買物等の交通手段に困っている方々への支援活動。社会福祉協議会で申請して利用できる、中型バスを借りて、月二回程度の頻度でラポやキヌヤなどへ赴いた。利用者からは、「家の近くまで来てくれるおかげで普段より多く買い物できた」等の言葉をいただき、また地元スーパーなどへの還元効果もあり、よい企画となった。現在は試験運用段階ではあるが、今後正式な運用規定などを作成し、令和4年4月を目途に本格的に活動していく予定。

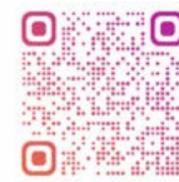
ひとづくり部会による、地域住民同士のつながりづくりを目的とした企画「マナビーヤ」の様子。告知放送などでの呼びかけにより集まった鎌手地区の子どもと大人が、互いに勉強したり体を動かしたり、読書などをした。冬休み直後に集まった子どもたちは、冬休みの宿題をし、答え合わせを、来ていた大人にしてもらっていた。子どもたちは普段あまり話す機会のない人と触れ合い、大人たちは子どもの成長を直に感じとれる良い企画となった。内容や実施場所を検討しつつ、今後も行う予定。

魅力づくり部会による特別補助金をつかった事業の一つ、SUP体験会の様子。あまり体験する機会のないマリンスポーツに子どもも大人も一緒になって、楽しんでいった。経験者から丁寧に教えてもらったことで、水上スポーツの危険性をしっかりと理解し、新鮮な経験を得ることができた。鎌手地区外にも告知したことや、地元新聞社から取材されたこともあり、魅力づくり部会が目的とする多世代交流、及び定住促進につながる良いプロモーション活動になったと思う。釣り体験会、星座観賞、焚き火体験なども併せて今後とも活動を続けていく予定。

お問い合わせ先

住所 〒699-3506  
益田市西平原町571-7  
かまで地域づくり協議会(益田市鎌手公民館内)  
TEL 0856-27-0501  
Mail csc-kamate@city.masuda.lg.jp

鎌手公民館



KAMATEKOUINKAN2020



魅力づくり部会



KAMATE.CHARM.LAB

# 島根県益田市 種地区

地域づくりのテーマ： 地域の特性と自然を生かし、“ひとつの輪”になった「むらづくり」



## ☆ 地区の概要 ☆

【地区の現況】（令和4年1月末時点）  
人口：247人 高齢化率49.4%

## 【地区の魅力】

- ・中山間地域に位置し、伝統芸能の神楽と自然を活用(さくら・あじさい・ホタル)したイベントを開催し、人との交流が盛んな地区
- ・小学校の跡地利用と、未耕作地の解消を図り、農産加工品の製造販売により、活性化している地区
- ・種出身者に「種だより」と「ふるさと便」を発送

## 【地区の問題・課題】

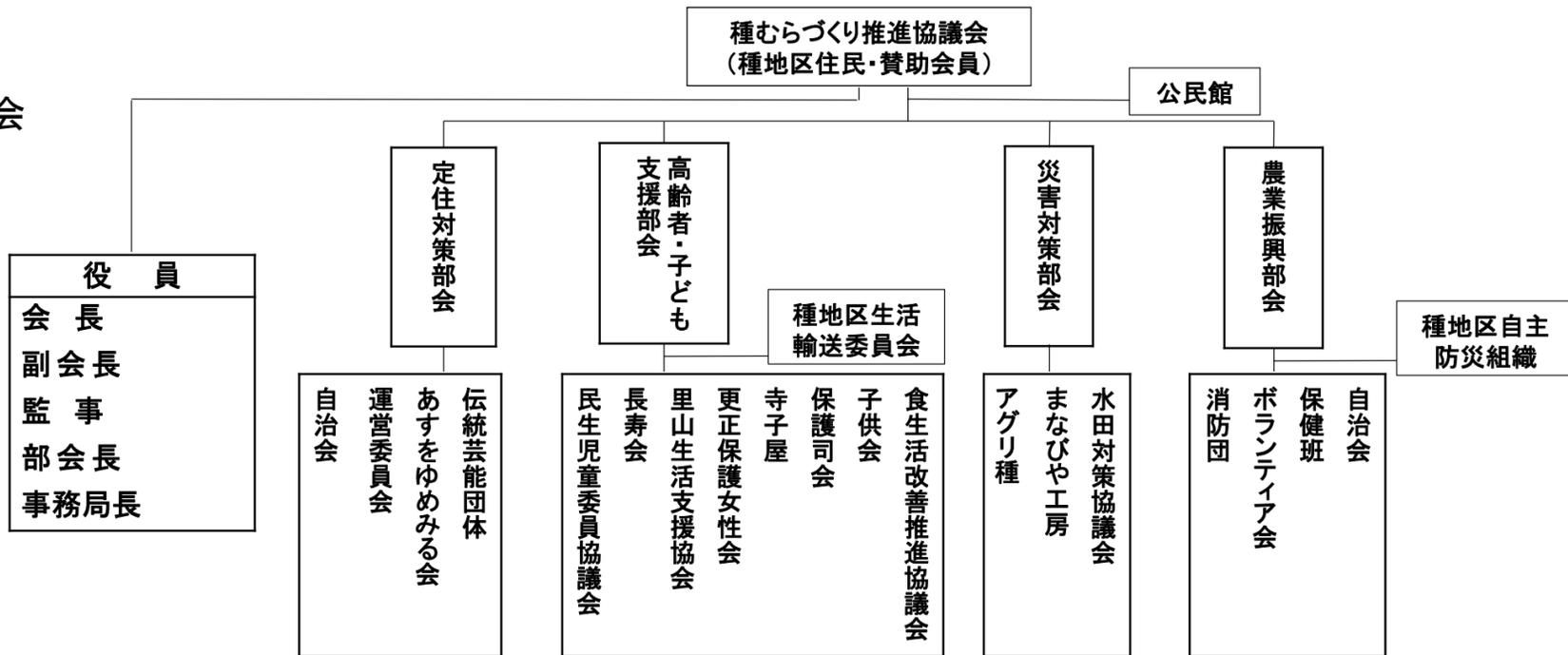
- ・人口減少・少子高齢化
- ・後継者、担い手不足
- ・鳥獣害対策
- ・高齢者支援
- ・耕作放棄地の増加
- ・小学校の跡地有効利用
- ・空き家対策

## ☆ 実施団体の概要 ☆

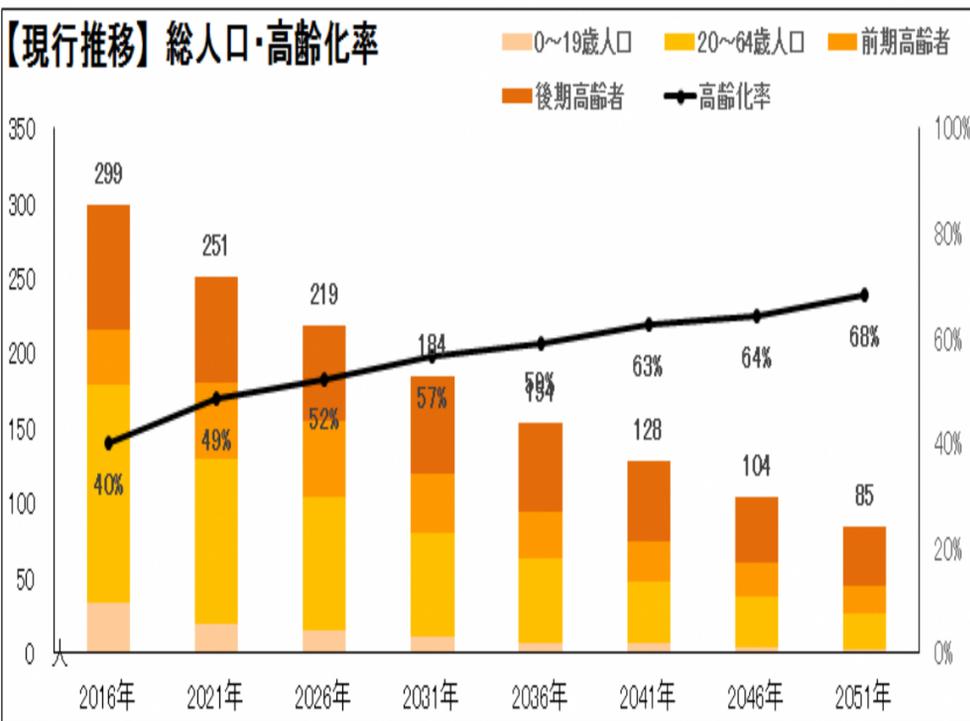
### 【団体の名称】

種むらづくり推進協議会

### 【構成団体、構成員】



## ☆ 地区の人口シミュレーション(2016-2021) ☆



資料：島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ☆ 地域の魅力化に向けた取組み ☆

- \* 都会(地区出身者)へ地域の魅力を発信(facebook、種だよりふるさと便)
- \* 伝統芸能(石見神楽)を活かした交流人口の拡大
- \* 運動会等行事へのふるさと選手の参加要請
- \* 担い手を育成する為、関係人口拡大を目指す
- \* 自転車全国大会が開催される場合は支援と交流人口の拡大
- \* 農産加工品の商品開発と販路拡大
- \* 農業法人による未耕作地の解消と新規作物の開拓
- \* 種ひだまり茶屋(サロン)を利用した拠点づくり



種むらづくり推進協議会は、先人の知恵により構成され歴史ある地区に住む全戸数参加型の地域組織です。近年のコロナウイルスに打ち勝ち、新たな取り組みを考え、各部会から意見を集め、話し、地域自治組織として皆で活動し、共に住みたい「種むらづくり」を次年度も進めていきます。

種公民館  
facebook



# 島根県益田市 種地区

こんなことを地域では話しあっています。

★問題解決に向けて、各々の部会で話し、地区住民へ意見をもらっています。

## ＜高齢者・子ども支援部会＞

- ・介護予防・日常生活総合事業訪問型サービスDの現状と問題点
- ・通所型サービスBについての取組み

## ＜災害対策部会＞

- ・自主防災組織を活用した、独居・高齢者世帯避難誘導を考えています
- ・外部団体との連携を作り、種地区独自の防災マニュアルを作成する

## ＜役員会＞

- ・地区の収支や予算など話し、地区行事について役員らで話しています

## ＜定住合同部会＞

- ・空き家出前講座を開催し、現在の空き家の状況を把握し、定住を促す施策を考えています

## ＜農業振興部会＞

- ・水田用水路の修繕、未耕作地の草刈り
- ・農業法人との提携も模索する

こんな地域づくりをしています。



## 地域活性化

- ・介護予防(通所型サービスB)
- ・介護予防(訪問型サービスD)



## 防災訓練

- ・自主防災組織設立後初の訓練実施



- ・あじさい園の草刈り等手入れ



## 農業振興

- ・農業法人による荒廃地の解消
- ・新規作物・ドローンの導入



## 明誠高校キャリアサポート

「笑顔の種をまこう～食と運動の地域活動～」を今年のスローガンとし明誠高校3年生の男子4名、女子1名が種地区に参加し、種地域の「魅力」や「問題点」を見つけ出し、学生目線から課題へ取り組んだり、魅力を発信してくれました

お問い合わせ先

〒699-3503  
島根県益田市下種町1179-1  
種むらづくり推進協議会(益田市種公民館内)  
TEL:0856-27-1008 (FAX兼)

種公民館  
facebook



# 島根県益田市北仙道地区

地域づくりのテーマ：『みんなが参加する、ひとづくりを通じた、ワクワク感を大切にしたい、まちづくり』



## ①地区の概要

【地区の現況】(令和4年1月末現在)

- ・人口:432人、世帯数:188世帯、高齢化率:48.6%、
- ・総面積15.53km<sup>2</sup>

## 【地区の魅力】

- ・豊かな自然に囲まれながら、市街地までは車で10分、萩・石見空港も30分で行ける好立地な地域。
- ・益田十景にも選ばれている比礼振(ひれふり)山(別名:権現山)に登れば、市内を見渡すことができる。

## 【地区の課題】

- ・少子高齢化 / 人口減少
- ・農業の担い手不足 / 耕作放棄地の増加 / 鳥獣被害
- ・空き家の増加 / 交通手段の減少 など

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

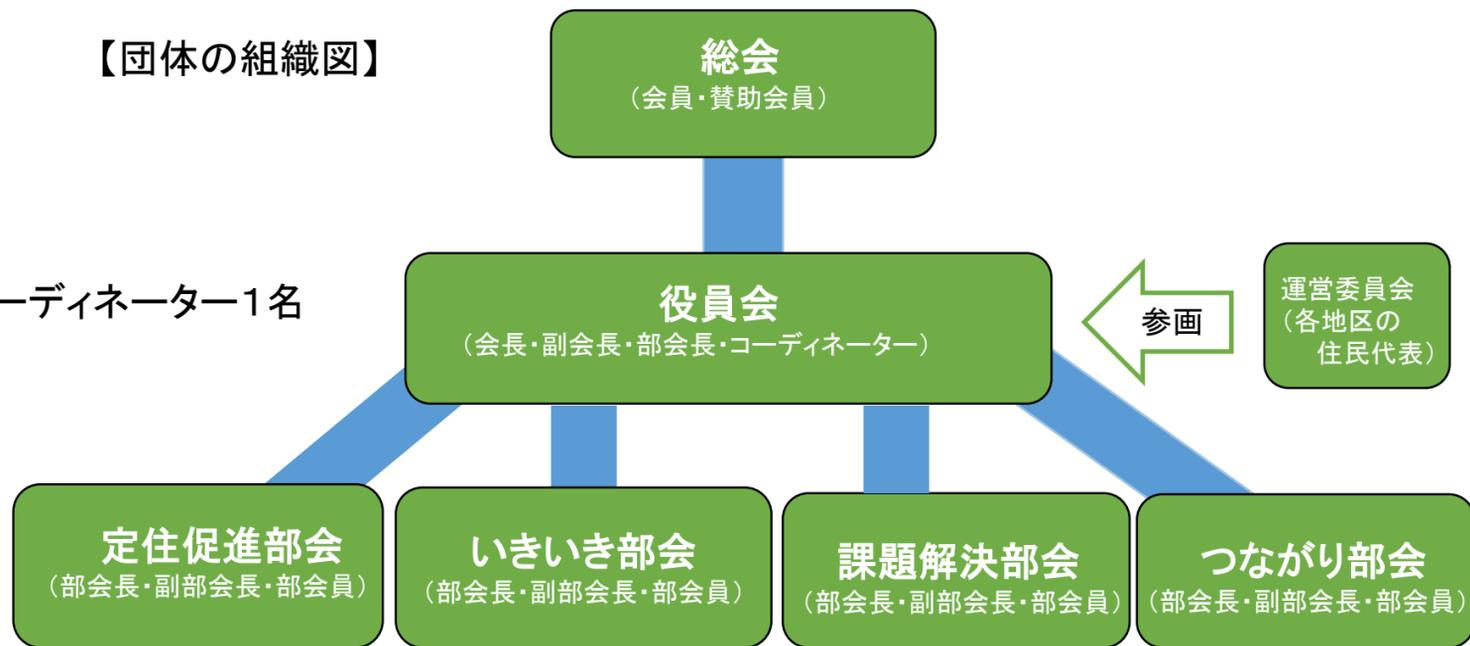
きたせんだう あした  
北仙道の明日をつくる会

### 【団体の組織図】

### 【構成団体、構成員】

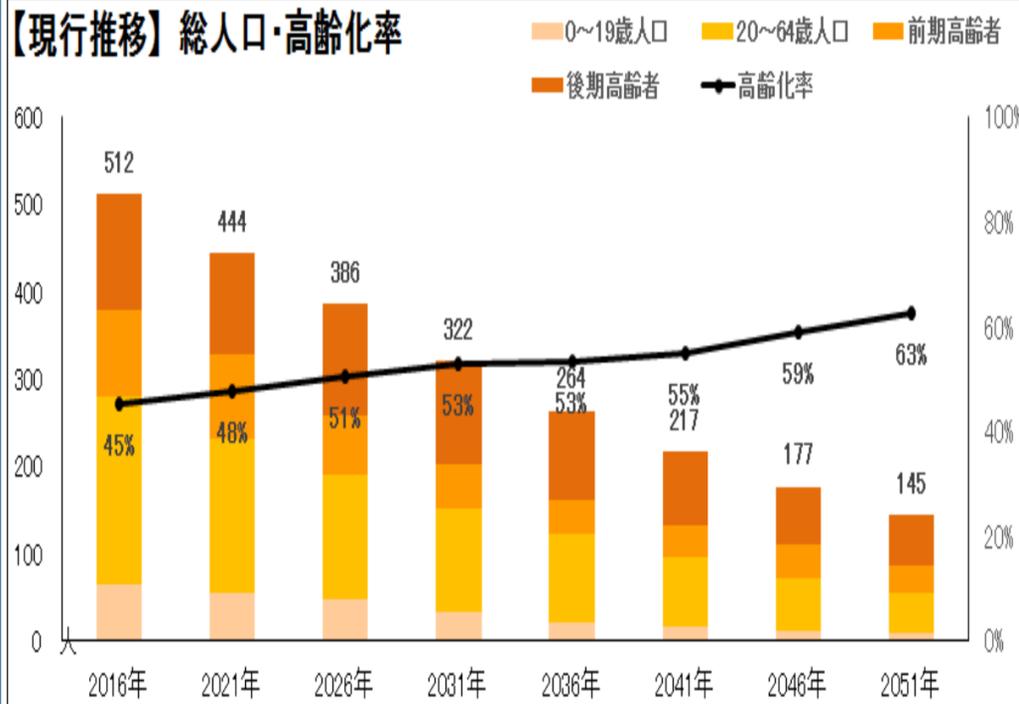
会長1名、副会長3名、監事2名、コーディネーター1名  
部会長4名、事務局長1名

- ◆ つながり部会(7名)
- ◆ 課題解決部会(16名)
- ◆ いきいき部会(7名)  
(きんさい市/北仙よめな会)
- ◆ 定住促進部会(8名)



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

### つながり部会

- ▶ 小・中学生と地域の大人との交流を目的としたワークショップ、「Kita no-ma」の企画・運営
- ▶ リノベーションした図書室のさらなる魅力化

### 課題解決部会(北仙活力隊)

- ▶ 地域住民の困りごとの解決(主に草刈り作業)

### いきいき部会

- ▶ 農産物の生産・加工・販売(北仙よめな会)
- ▶ 販売する場を作り人々の生きがいに寄与(きんさい市)

### 定住促進部会

- ▶ SNSの活用や自治組織だよりの発行など、地域情報の発信
- ▶ 北仙道パンフレットなどの広報資料の作成
- ▶ 竹灯籠イベントの開催



### 【北仙道の明日をつくる会 会長 伏谷正明さんからのメッセージ】

「住み続けたい地域」を目標に結成4年経ちました。厳しいところは多々ありますが、子ども達の活性化、若年層の定着化、高齢者のはつらつ化を目指し、発展化させていきたいです。

# 島根県益田市北仙道地区

## ⑤こんなことが話し合われています

### 役員会(月1回開催)

各部会の活動報告や内容の検討を行っています。また今後の活動においても役員で話し合っています。



### 定住促進部会(月1回開催)

北仙道の情報を発信するため、北仙道のパンフレットVol3作成に向けての話し合いや北仙道の魅力は何かを考え、定住に繋げていくためにはどうしたらいいかを話し合っています。



### つながり部会(月1回開催)

次世代育成・世代間交流事業の計画・反省をしています。毎月集まり部員がアイデアを出しあってできることを計画しました。



## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### ★つながり部会★



### 北仙道合宿(デイキャンプ)

地域の子ども、親子を対象とした日帰りのデイキャンプ。ペットボトルピザ作りをして皆で昼食を食べ、午後は竹灯籠ワークショップを行いました。



### Kita no-ma

地域に住む高校生からの提案で、つながり部会とコラボして行った独居高齢者へのインタビュー企画。話が盛り上がり1時間も滞在していたグループなどもありました。

### ★いきいき部会★



### きんさい市・よめな会

今年度から新たに立ち上げた、いきいき部会。きんさい市では地区外からの協賛品もたくさんあり3回開催しました。

よめな会では大正大学の学生さんと対流促進事業としてやり取りを行い、東京のガモールで無事に商品を販売し、完売することが出来ました。よめな会のキャラクターも誕生しました。

### ★課題解決部会★



### 北仙活力隊

北仙道地区内外で、草刈りなどの依頼を受け、活動を行いました。依頼する人も固定化し、安定した活動になっています。

### ★定住促進部会★



北仙道パンフレットVol.3・北仙道絵図  
昨年度に続き、北仙道パンフレットVol.3に向けて話し合い、作成に取り掛かっています。また、北仙道絵図も作成中です。



### 竹灯籠点灯

今年はずながり部会のデイキャンプと一緒に竹灯籠ワークショップを行いました。完成した竹灯籠は、イルミネーションと一緒に点灯し、今までとはまた違った雰囲気でも点灯しました。



### 【お問い合わせ先】

〒699-3674 島根県益田市大草町665-1

北仙道の明日をつくる会(益田市北仙道公民館内)

TEL・FAX : (0856) 22-0218

Facebook : <https://www.facebook.com/kitasendou/>



北仙道の明日をつくる会  
Facebook



北仙道の明日をつくる会  
Instagram

# 島根県益田市豊川地区

地域づくりのテーマ: 「住みよい豊川・住みたい豊川」そして未来へ とよかわの未来づくり宣言 ~ほしい未来は 自分たちでつくる~



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口 827名(男 399名、女 428名)、高齢化率 38.3%(令和4年1月末現在)。

益田市の中心市街地に隣接した、都市部と山間部を併せ持つ緑に囲まれた自然豊かな地区。

### 【地区の魅力】

益田で唯一の一等三角点を有する葦草山や樹齢約140年の岩柘いだれ桜、大谷城跡等の歴史的遺産が数多く点在している。

地域を挙げて子ども地域活動やがん対策に取り組んでおり、地域を元気にすることを目的とした活動が始まっている。

### 【地区の課題】

自然に恵まれた住みやすい地区であるが、少子高齢化による人口減少、高齢者世帯の増加等により、後継者及び担い手不足など、様々な課題が山積している。

## ②実施団体の概要

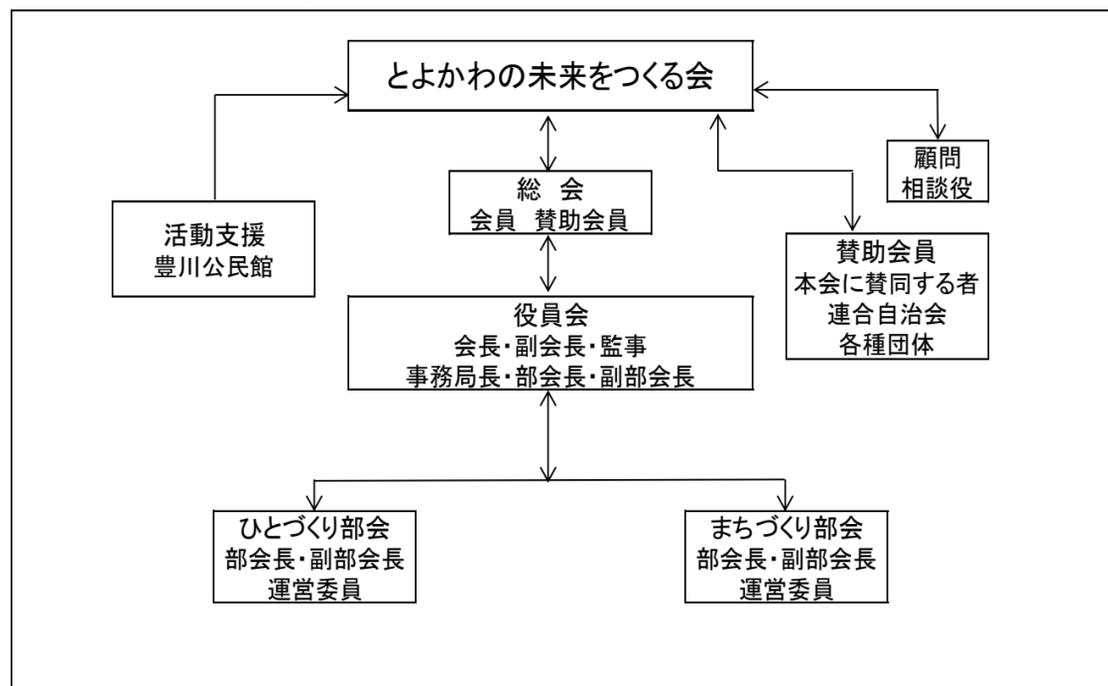
### 【団体の名称】

とよかわの未来をつくる会

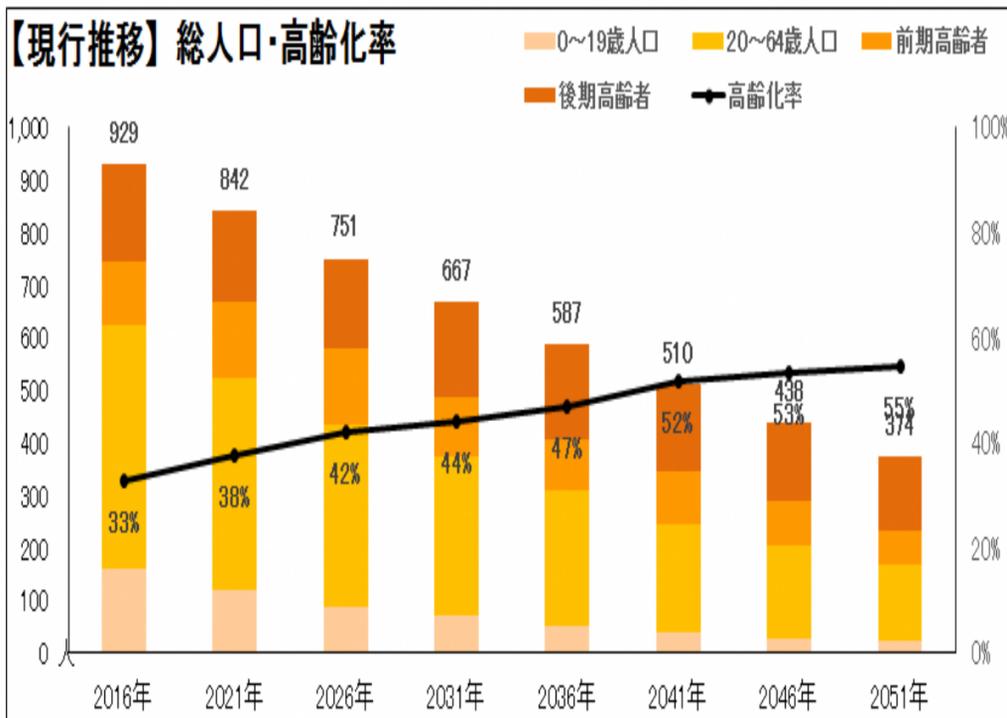
### 【構成団体、構成員】

- ◆豊川地区社会福祉協議会
- ◆豊川地区公民館運営委員会
- ◆豊川地区連合自治会
- ◆豊川地区民生児童委員
- ◆豊川地区更生保護女性会
- ◆豊川地区食生活改善推進協議会
- ◆豊川地区つろうて子育て推進協議会
- ◆豊川地区団体等
- ◆豊川地区地域住民(I・Uターン者等)
- ◆豊川小学校
- ◆豊川保育園
- ◆本会の目的に賛同する者

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)



資料: 島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

昨年度までの取組の中で課題として挙がっていた地域住民への活動内容の周知や、より多くの方々に参画してもらえる仕組みを作る為、自治会長を中心に構成して来た「魅力づくり部会」を「まちづくり部会」に変更。安心して暮らせるまちづくりに向け活動を広く住民に伝えていくことを大きな役割とする部会として再構築する事とした。

◆ひとづくり部会(つろうて子育て推進協議会との連携) **取組内容抜粋**  
 ☆とよかわ寺子屋の運営

小学校での学びを深める活動や子ども達の「やりたい」を実現する活動など、子ども達の主体的な学びを深める活動を展開。

☆地区内外の交流

地区内の世代間の交流や地域外の方を招いての交流、地域外に出向いての活動発表・交流など「交流」を目的とした活動の機会を創る。

☆「とよかわゴン」「とよかわの家」運営管理、お茶プロジェクトの実施他

◆まちづくり部会 **取組内容抜粋**

☆空き家調査の活用

空き家についての調査の継続、空き家バンク登録の推進。

☆安心して暮らせる地域づくり

災害時における各地区の避難経路策定の支援、鳥獣対策への支援



【団体長メッセージ】地域の活性化に向けて、本地域自治組織では下記の事柄を重視している。「ひとづくり」「地域づくり」の主役は住民である。「人材発掘」「人材育成」「人材活用」をワンセットにした取組を柱としている。中・長期的な構想に基づきながら、理論と実践を融合させている。諸活動を支える理論は「住民参画」「ボランティア」「学社融合」である。諸活動の実践に向けては「ひとづくり部会」「まちづくり部会」を定期的に関き、活動への共通理解はもちろんのこと、PDCAのサイクルを基本にした評価をしている。諸活動の概要については、定期的に機関誌を通して、地区住民に情報を提供している。

# 島根県益田市豊川地区

## ⑤こんなことが話し合われています。



令和3年 4月20日(火)  
第1回 とよかわの未来をつくる会  
役員会を開催。  
役員会の年間スケジュール、各部  
会の組織体制及び役員改選等協議。  
持続可能な自治組織の為に組織の  
活性化、再構築を図る。



令和3年 6月3日(木)  
第2回 とよかわの未来をつくる会役  
員会を開催。

事業計画、組織体制(部会・役員)  
の見直し、前年度の事業報告、決算  
報告、流れについて説明。定例総会  
は開催せず書面表決にて対応。



定例総会「書面表決」について  
各戸(約310戸)へ書面表決書を配  
布。194戸より回答いただき、地区  
民の理解と協力により定例総会の議  
案は可決。回答率63.2%  
令和3年6月20日付けをもって承  
認(総会予定日)。



今年度も新型コロナウイルスの影  
響もあり、役員会7回、三役会2回、  
ひとづくり部会3回、ひとづくり部会3  
回を開催。

第2期プランで掲げた「楽しく」「子ど  
も大人も」「自分たちで」をキーワード  
に住みよい豊川に繋がる活動を展開。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています。



★とよかわ寺子屋の運営  
夏休みには自学・宿題教室をはじめ海  
の生き物教室等10教室を開催。子ども  
達の「やりたい」を実現する活動を支援。

★安心して暮らせる地域づくりの推進  
鳥獣被害(クマ等)対策の勉強会を2回  
実施。生態、行動、現場での被害防止対  
策等基本的な知識を学ぶ。

★益田東中学校ローカルプロジェクト  
2年生の「総合学習の時間」を地域の  
方々との交流を図る目的により開催。「と  
よかわの家」までの案内看板を作成。



★大人の学び場づくり  
ひとづくり部会等女性をメインに「色ん  
な人を元気にしていく」企画を運営。「フ  
ラワーアレンジメント教室」、「パッチワ  
ーク教室」「星空観察会」等を開催。

★お茶プロジェクトの実施  
遊休農地の活用の研究として始まった  
「お茶プロジェクト」では、季節に応じたお  
茶の楽しみ方を提案するワークショップ  
等を開催。(写真:釜炒り茶)

★中高生(とよかわっしょい!!)の支援  
地域の高校生が自分達の秘密基地づ  
くりをテーマにした「ツリーハウスづくり  
」を計画。「とよかわの家」に続く新たな拠  
点として製作中。(写真:棟上げ)

お問い合わせ先

〒698-0012  
島根県益田市大谷町334-1  
とよかわの未来をつくる会(益田市豊川公民館内)  
TEL:0856-22-0205  
FAX:0856-22-0205  
H P: <http://masuda-toyokawa.wixsite.com/miraidukuri/>



# 島根県益田市真砂地区

地域づくりのテーマ：「食育」と「福祉」を主軸に、地域で子どもを育てる“子育てしやすい”まちづくり



## ①地区の概要

【地区の現況】(令和4年1月末現在)

- ◆人口：323人(高齢化率：53.6%／153世帯) ◆自治会：8
- ◆面積：29.72㎡ ◆市内より約15km(車で約20分)

【地区の魅力】

日晩山(標高744m)の伏流水を利用した米や豆腐が特産品。H23年度から公民館・地域商社・小中学校が連携して開始した「食育活動」が実を結び、現在は社会福祉法人も参画し発展。さらに真砂保育園の「里山保育」は地域住民を巻き込んだ小さな福祉活動として定着しており、これらの複合的でアットホームな取組が、山間部の小さな地区ながらソーシャルイノベーションの事例として地域づくりの専門家からも注目されている。

【地区の課題】

深刻な人口減少に伴い、昨年度は残念ながら公共交通路線が撤退、また中学校が閉校となったが、今春からその跡地で複合施設の建設が始まる。この機に当地区にとって最適な地域の在り方について模索し、全住民と明るい未来を共有し、実践していきたい。また“住める空家”不足から、移住希望者の受け入れ対策の引き続き最重要検討課題である。

## ②実施団体の概要

【団体の名称】

地域自治組織「ときめきの里 真砂」(H28.4.24設立)

【構成団体、構成員】

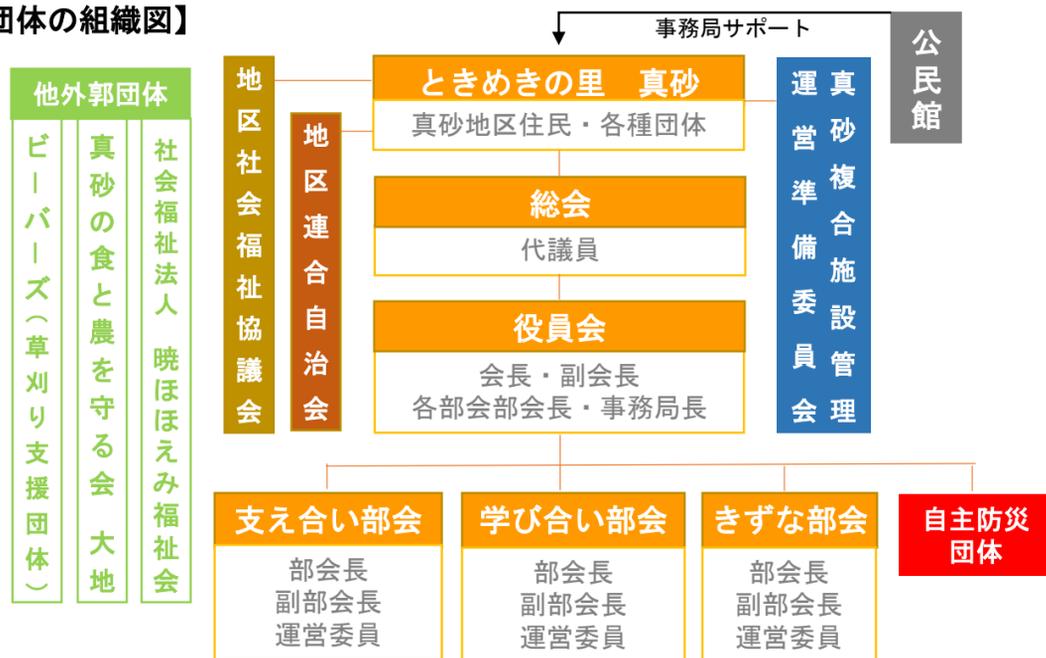
会長1名、副会長2名、事務局長1名、監事2名、  
会計・庶務1名、自主防災団体 事務局1名

- ・支え合い部会 (男性3名、女性4名)
- ・学び合い部会 (男性4名、女性2名)
- ・きずな部会 (男性9名、女性8名)

◆他主要活動

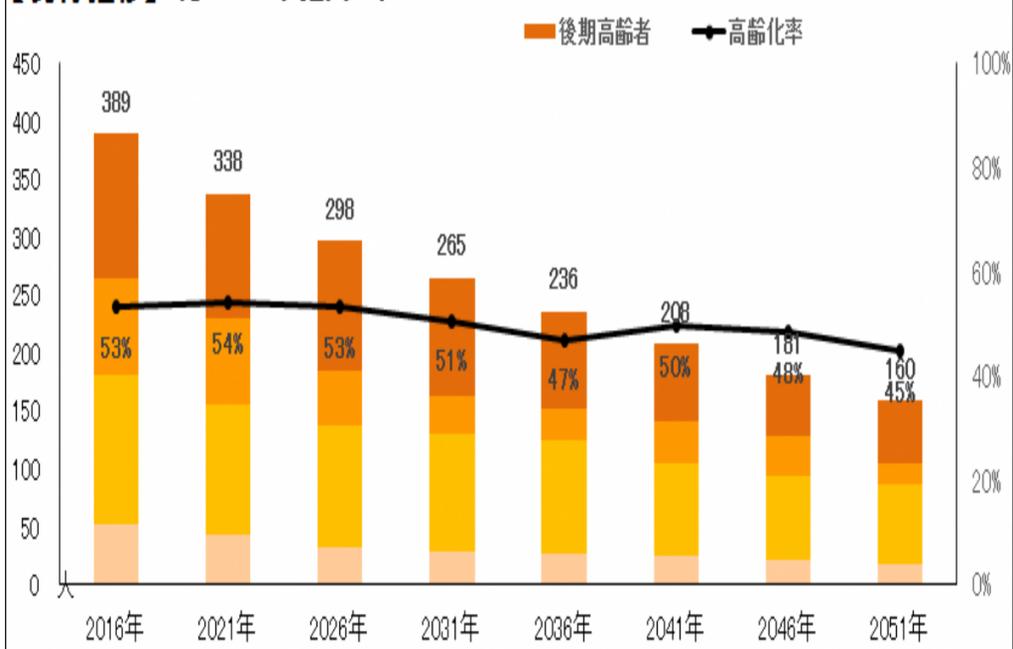
- ・真砂小学校複合化施設建設に関わる対応
- ・交流拠点tele-glue(てれえぐれえ)運営施設管理

【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

◆保育所への給食食材提供

H23年より、高齢者の生きがいづくりを目的に、家庭菜園のあまり野菜を市内保育所や福祉施設の給食食材等として提供しており、画期的なスモールビジネスとして多数の専門家からも評価を得ている。さらに独自の土づくり等で真砂野菜のブランド化を図り、H28年からは市内のレストラン向けに少量ながら西洋野菜の栽培・販売も行っている。

◆子どもたちの食育活動

同年より始めた小学校の授業の中で地域の大人等を講師として学ぶ食育活動は、野菜づくりからメニュー開発、地区内レンタルカフェで飲食提供・接客までを体験し、子どもたちの自己肯定感やコミュニケーション能力の向上、ふるさと教育等に繋がっている。

◆ふれあいバスツアー

交通弱者(主に高齢女性)を対象に、デイサービス送迎車の空き時間を利用し、市内大型ショッピングモールで買い物をした後、真砂保育園にて園児と給食を食べながら交流するバスツアーを月6回実施。(前年度からコロナウイルス感染症防止策により活動を縮小中)



【団体長メッセージ】ときめきの里 真砂も設立6年を経過しようとしておりますが、一昨年より2年間は、経験したことのない世界規模での流行感染症で多くの活動が制限されました。未だ収束の兆しが見えない中、自治組織運営としてはかなり厳しい状況ではありますが、幸いにも当地区では、真砂中学校の統廃合による複合施設建設工事が、今春から年末の完成を目指して始まります。この複合施設が、元気な真砂の未来を担う頑丈でしなやかな骨格となることを目指し、建設中から地域の方々と可能な限り多くの協議を重ね、想いを共有し、完成後の施設有効活用を図りたいと思います。

# 島根県益田市真砂地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### ときめきの里 真砂 役員会

複合施設建設に向け、市担当課との窓口となり協議を続けてきました。11月15日には、真砂まるごとフェスタ後に、小学生を主とする子どもたち向けに複合施設の説明会を実施。今後は複合施設管理運営準備委員会の一員として継続して施設の管理運営について協議する予定です。



### 真砂複合施設管理運営準備委員会

令和5年に竣工予定の複合施設が、真砂の全住民にとって日常的に利用できる有意義な施設となるよう、2月2日、施設入居予定団体(小学校・公民館・連合自治会・自治組織・暁ほほえみ福祉会)で準備委員会を設立。今後さらに住民ボランティア等を募り活動を広げます。



### 真砂の交通を守る会

#### ＜デマンドタクシー実証実験事業＞

R2年9月末で路線バスの廃線が決定したことから、「真砂の交通を守る会」を再結成し、バスの利用者を中心に聞き取り調査を実施。市と協議を重ね、代替運行として1年半のデマンドタクシーの実証実験を行いました。



### イベント実行委員会

昨年度に引き続き、コロナ禍にてさくら祭は中止となったが、真砂保育園・小学校の合同運動会や、まるごとフェスタは規模を縮小し開催。運動会は、例年会場となる中学校が工事中のため小学校での開催となったが、小学校校舎も解体が決まっており、多くの思い出の残る会となりました。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



### 支え合い部会

#### 認知症予防カフェ

目的: 認知症の予防と家族へのケア、及び地域全体での理解促進を目的とし、設立以降毎年継続中。

概要: 通常年4回、デイサービスひぐらし苑にて開催(送迎付き)。今年度、コロナ禍で2年ぶりの開催となった12月19日(日)は、23名の方が参加され、益田市健康増進課職員による「ますます元気体操」で体を動かしたり、ビンゴゲームで脳を活性化させるなど、楽しいひとときを過ごしました。



### 地域活動交流拠点

#### ひら山のふもとカフェtele-glue(てれえぐれえ)

目的: 飲食店のない当地区において、住民が気軽に集まり、飲食しながら地区内外と交流できる場づくり等を目的にH28年にオープンしました。

概要: 誰でも「いちにちカフェ」ができる厨房付きレンタルサロン(保健所の許可申請済)。定期出店は、住民による週2回の「早朝モーニングカフェ」、市内在住グループ企画で3年目となる月イベント「マッサージとランチとおやつ」に加え、今年度からは市内指圧院の出張マッサージも定期開催となった。また12月には(一社)ユタラボが企画したイベント等も開催され、地区外の新たな交流人口増加の機会が創出されました。

### 学び合い部会

#### 防災ぐるぐるパンづくり体験

目的: 今後、複合施設完成後に向けて進める【真砂方式】の【防災】～日常の交流こそが最大の備えになる～の一環として、有事に備え、楽しく学びながら交流することを目的に開催しました。

概要: 9月12日(日)、真砂小学校の奉仕作業にあわせて、小学生及び保護者と共に「防災ぐるぐるパンづくり体験」を実施。

ぐるぐるパンとは、竹に巻き付けた生地を炭火で焼いたパンのこと。奉仕作業の時間帯にパン生地を発酵させるなど効率を考えたスケジュールで、地区食改の皆さんのご協力のもと、(有)真砂の真砂豆腐のおから混ぜ込み、ほんのりおからの甘みがあるもちもちとした食感のパンを焼きあげました。  
※時世柄、感染対策の上パンは各自持ち帰りました。

### 自主防災団体

#### 暗い道を無くす環境づくり

目的: 明かりの少ない生活道路や避難経路の暗い道を解消すること

概要: 10月3日(日)、独居高齢者宅への生活通路に、地元自治会の協力を得てソーラーライトを設置。今後設置個所を増やしていく予定です。



### 【ときめきの里 真砂 事務局】

〒698-0411 益田市波田町イ930-1(元JA真砂支所) TEL/FAX 0856-26-0002(真砂公民館内)

HP(真砂+) <http://masagoplus.jp/>

facebook(真砂+) <https://www.facebook.com/masagoplus/>

お問い合わせ先

# 島根県益田市西益田地区

地域づくりのテーマ： 一人ひとりが輝く “いいまち にしますダ!!”



## ①地区の概要

【地区の現況】（令和4年1月末現在）

人口：3,778人 世帯数：1,701戸

高齢化率：46.0%

自治会数：17

〈益田市においては中規模の地区〉

## 【地区の魅力】

各金融機関、保育園、小学校・中学校・養護学校、自動車学校、個人医療機関、薬局、各種福祉施設、スーパー、コンビニエンスストア、飲食店などがあり、普段の生活には困りません。

また、清流高津川や匹見川が流れ、鮎釣りや川辺の活動などたくさんの方が楽しめる自然環境が揃っています。2019年公開の「映画 高津川」では、ロケ地のひとつにもなりました。

## 【地区の課題】

人口の減少や高齢化が年々深刻になってきており、自治会役員の担い手不足などの課題が浮き彫りになっています。

## ②実施団体の概要

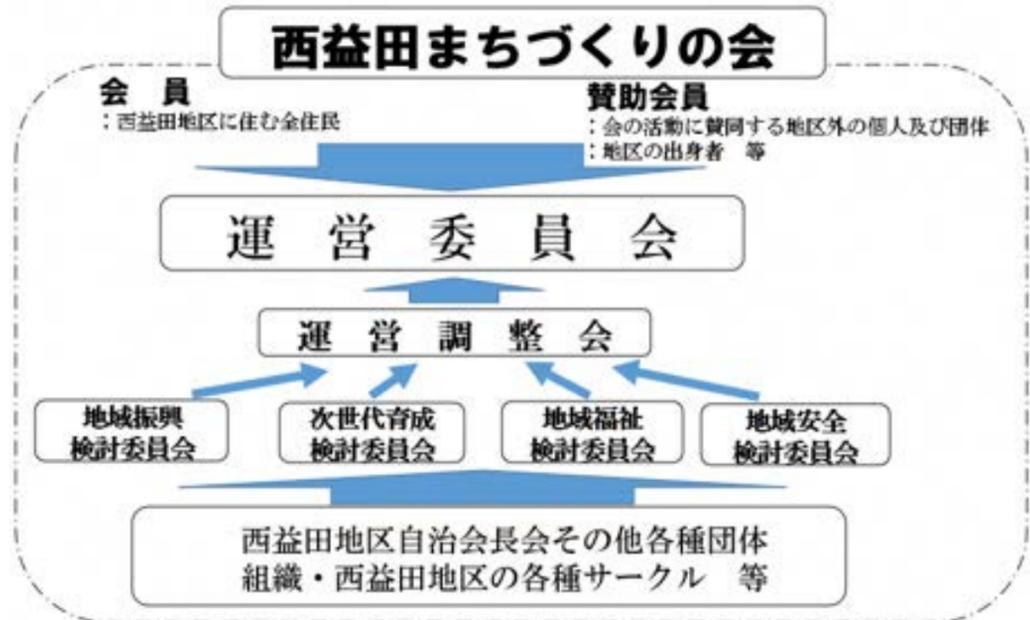
### 【団体の名称】

西益田まちづくりの会

### 【構成団体、構成員】

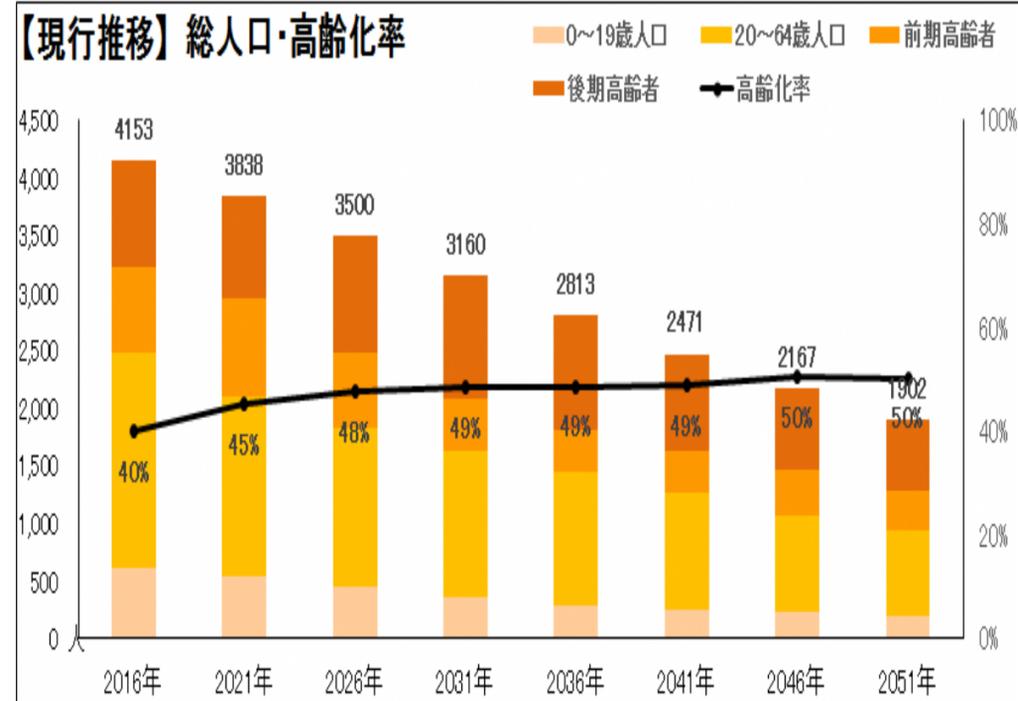
西益田まちづくりの会  
西益田地区連合自治会  
豊田・西益田公民館運営委員会  
豊田・西益田公民館  
益田商工会議所西益田支部  
西益田地区つろうて子育て協議会  
西益田地区青少年健全育成協議会  
地区住民

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

### ◆地域振興検討委員会

・空き家情報募集プリントの作成と配布

### ◆次世代育成検討委員会

・西益田 灯火祭の開催

### ◆地域福祉検討委員会

・あなたの困りごとアンケートの実施

### ◆地域安全検討委員会

・防災学習会  
・交通安全ベストの製作

### ◆運営委員会

・手作りイルミネーション設置活動  
・西益田「きらりスポット・アピール事業」



西益田まちづくりの会  
マスコットキャラクター  
西田マス



### 【西益田まちづくりの会 会長 牛尾智昭さんよりメッセージ】

「西益田まちづくりの会」は設立3年目を迎えました。今年度も新型コロナウイルスの影響に苦しめられ、大きな行事やイベントは中止となり、もどかしい1年となりました。各検討委員会のメンバーにおいては、今年度も様々な視点から西益田のまちづくりについて協議・検討し、できることから一歩ずつ取組を進めている状況です。昨年度から、地域の子どもたちもまちづくり活動に関わってくれるようになり、若手の力も借りながら西益田地区を盛り上げていけたらと思っています。

# 島根県益田市西益田地区

## ⑤こんなことが話し合われています



地域振興検討委員会では、地域の課題にもなっている空き家問題について検討を進めています。特に“まだ住めそうな空き家”に重点を置き、地区住民から情報提供を求めるプリントを作成し、全戸へ配布しました。



地域安全検討委員会では、地区住民に防災に対する意識を高めてもらうため、「防災学習会」を開催しました。講師の桂木正則氏から自主防災組織の結成と活動についてお話頂き、災害に強い地域社会を創るためのアドバイスをいただきました。



地域福祉検討委員会では、地区住民の不便の軽減のため“困ったに答える取組”をしようと「あなたの困りごとアンケート」を実施しました。結果からは、地区の様々な課題が見えてきて、今後の活動における良い資料となりました。



12月に行った「まちづくり合同会」では、運営委員18名、4つの検討委員37名、顧問・監事5名が一堂に集まり、グループごとのフリートークで、設立より3年間の振り返りや、これからのまちづくりについて感想や意見を出し合いました。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



### 西益田 灯火祭

～中学生有志とまちづくりの会によるつながり協働プログラム～

「地域を元気にしたいんです！」「地域のために何かしたいんです！」この中学生の思いで昨年始まった灯火祭を、今年の中学生は「つながりをつくりたい！」とパワーアップして受け継ぎました。6月から中学生の有志と次世代育成検討委員会が協働で企画検討を進め、11月7日に開催しました。今年のメインは、「鞠灯笼」です。川の上に吊るし、水面に反射した灯りは、光と影がつくり出す幻想的な空間を生み出し、約800人の来場者に楽しんでいただきました。

### 手作りイルミネーション設置活動

西益田地区の冬の風物詩であるこの活動は、今年で9回目となりました。運営委員会と地域の協力者の方々、横田中学校の有志のみなさんに協力していただき、豊田公民館の周りに色とりどりのイルミネーションを設置しました。毎年恒例の活動ですが、地区内外からたくさんの方が見に来てくださり、写真撮影などを楽しんでおられました。「コロナ禍で疲れ気味の心が、このイルミネーションで少しでも癒されるといいな...」とつぶやいた中学生の言葉が印象的でした。

### 自然の恵み(地域資源)を活かした活動

西益田地区には清流高津川や匹見川が流れており、年間を通して様々な“川の活動”が行われています。小学生や保育園児を対象とした稚鮎の放流体験、体ひとつでプカプカ流れる親子川流れ、名人に仕掛け作りから教わる川釣り教室、保育園児から中学生を対象とした鮎体験交流など、西益田の川文化を学ぶ活動を通して、次世代を担う子どもたちに自然の豊かさを伝えています。また、夏季にはカヤックやSUPなど、川のスポーツを楽しむこともできます。

お問い合わせ先

〒699-5132  
島根県益田市横田町454-3  
西益田まちづくりの会(豊田公民館内)  
TEL:0856-25-2222(FAX兼)



Facebook



Instagram



# 島根県益田市二条地区

地域づくりのテーマ： **里山をいかし、人と自然がつながる二条『みんなでつろうてようしょうやあ』**



令和3年11月25日(木)の「岐阜県庁市町村課視察団」の御一行21名！  
岐阜県下より現役・OBの地域おこし協力隊の20～40代の若手メンバーが来益され、  
本会得意の「有害鳥獣対策」から定着率の非常に高い「UIターン者の定住」まで、  
午後2時から時間ギリギリの5時半まで、質問攻めの嵐でした！  
(上写真は、羽原地内にある「サル囲い檻」現場にて)

## ① 地区の概要

### 【地区の現況】

自治会数：5、集落数：23、世帯数：254  
人口：479名（男性：217名、女性：262名）  
高齢化率：53.9%（令和4年1月末時点）

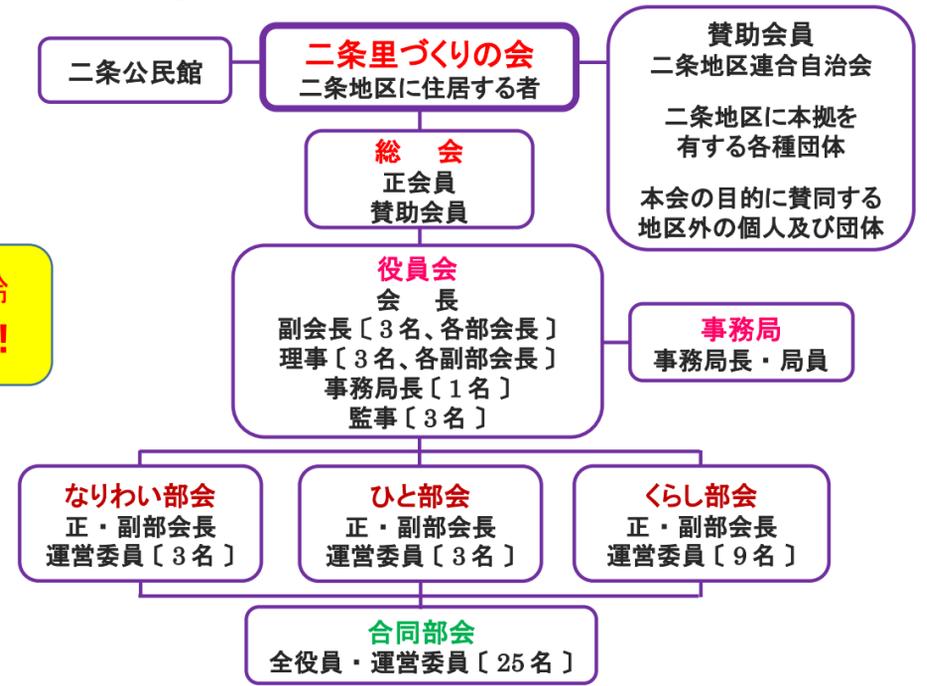
### 【地区の魅力】

「3本の県道と1本の農道の輪」で形作られ比較的標高差の少ない当地区は、益田市指定文化財となっており眺望が絶景の「横山城址」、地区人口の3倍もの来場者が訪れる6月の「ホタル祭」、抜群に美味しい「二条米」、江戸期から昭和中期にかけて5軒もの旅籠（はたご）が軒を連ね、物々交換の「市」が立つ基点となる街道筋の「宿場町」だった等々、歴史ロマン漂う源氏ボタルの舞う桃源郷です。

### 【地区の課題】

少子高齢化による人口減少から平成30年3月18日、惜しまれつつも地区内にあった市立西南中学校が閉校。耕作放棄地・空き家の増加、有害鳥獣被害の増大、後継者不足による地場産品の消滅危機、高齢者の買い物難民化等、中山間地域特有の多種多様な課題を抱えています。

## 【団体の組織図】



平均年齢  
63.2歳！

## ② 実施団体の概要

### 【団体の名称】

地域自治組織

# 二条里づくりの会

### 【構成団体、構成員】

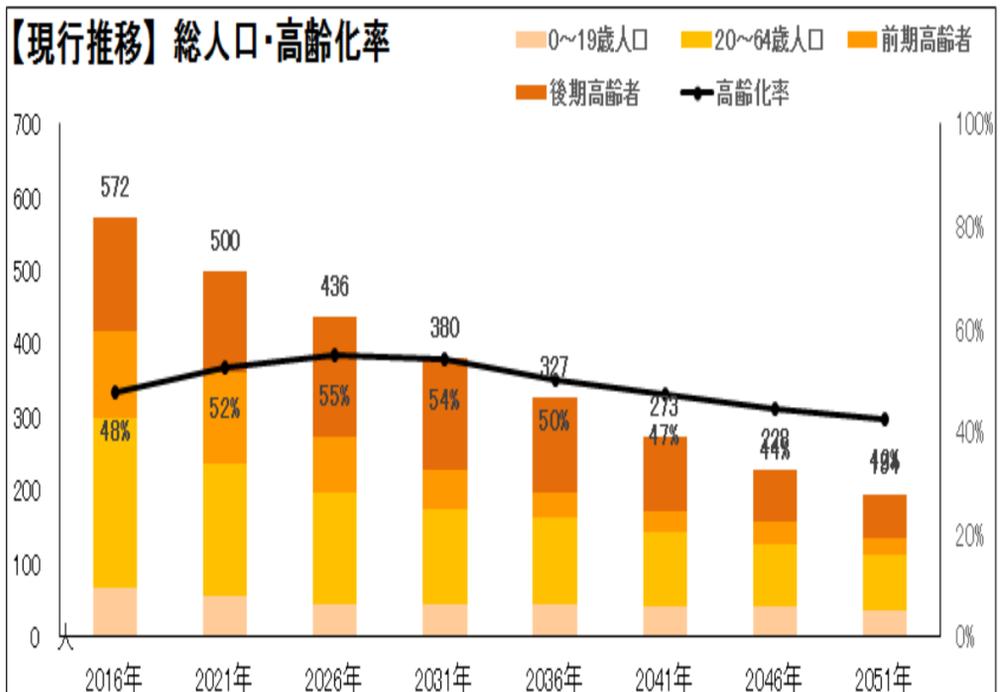
役員・運営委員 全25名

- ・なりわい部会 5名〔副会長・理事各1名を含む〕  
男性4名、女性1名
- ・ひと部会 5名〔副会長・理事各1名を含む〕  
男性3名、女性2名
- ・暮らし部会 11名〔会長・副会長・理事各1名を含む〕  
男性7名、女性4名
- ・事務局長・監事3名 男性3名、女性1名

構成比 男性：68.0%、女性：32.0%

「女性陣の“井戸端会議の声”は威力大なり！」

## ③ 地区の人口シミュレーション(2016-2021)



資料：島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④ 地域の魅力化に向けた取組

二条里づくりの会は、「なりわい・ひと・暮らし」の3部会により構成されており、令和2年度に新しく策定された「令和2～7年度 元気なむらづくりプラン Part.2」〔6カ年計画〕で、活動の「7本柱」

- ・次世代を育成する事業
- ・住民をふやす事業
- ・高齢者にやさしい事業
- ・新たな産業を興す事業
- ・安全安心な暮らし事業
- ・環境をよくする事業
- ・里山の環境を活かす事業



を引き継ぎ、前半期は新型コロナウイルスの影響で活動も停滞気味でしたが、その後は「二条ふるさと便（お中元・お歳暮）の受注と発送」、「お試し体験古民家住宅『つどい』の活用」、「世代間交流の実施」、「空き家バンクを活用した、UIターン者誘致」、「自主防災組織の設立」、「ICT技術・IoTデバイスを活用したサル防除活動が中心の有害鳥獣対策」、「地域マネージャー制と法人化の検討」、「視察対応」、「地区内交通の検討」等、差別化した取り組みに挑戦しました！



品川勝典会長

【会長の回顧録と決意】 令和2年度に策定した新しい「第2期6ヵ年活動計画」の2年目だった本年度も一昨年同様、春先からの「新型コロナウイルス」の感染拡大騒ぎで『今年こそは！』と事業活動を本格的に実施する予定だったのですが、残念ながら特に前半期は活動の停滞を余儀なくされてしまいました。でも、「まちづくり活動特別補助金」の申請からプレゼンに挑む頃より、各3部会の活動も活発に動き出したように感じています。

今は特に、「高齢者の足」問題と「地域マネージャー制」導入の検討、そして険しき道なれど「法人化」の方向性を探っています。来年度は「自治組織座談会」を主催しなければなりませんし、地域が活性化し、住民が安心・安全に暮らせるよう、そして本会ももう一段飛躍出来るよう頑張る決意です。かの厄介者には、早く終息して欲しいですね。

# 島根県益田市二条地区

## ⑤ こんなことが話し合われています



令和3年5月16日(日) 定期総会



「前年度事業報告・決算」と「今年度事業計画・予算」の承認を受けた令和3年度の定期総会は、「検温・手指消毒・マスク着用・聞き取り記入」といった新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、「参加者多数の場合に入場制限する、通常開催」といった方式を採用しました。そして無事、「34分間」といった短時間で開催することが出来ました。

【6月8日(火) 第3回役員会】  
総会明けの役員会では、「まちづくり活動特別補助金」の申請について、活発な議論が交わされました！

【7月9日(金) 足と法人化協議】  
西部県民センター・市社協・吉野さんを招いて「高齢者向けの足と法人化」の協議が行われ、広島のジェニー山本さんも駆けつけてくれました！

【7月21日(水) 跡地利用会議】  
中々進まない「旧西南中の跡地利用」に関し、役員・運営委員が一堂に会し、激論を戦わせました！さて、この行く末は？



11月6日(土)、美都町の板井川で「粉炭」を製造しておられる山本粉炭工業を訪ね、山本明男社長にお話を伺いました。山本社長は苦勞の末、「作業車両走行路付きプール式炭化平炉」(特許第5560383号)を発明！そしてこの度、「文部科学大臣賞～令和3年度地方発明表彰～」を受賞されたとのこと！今まさに流行の「SDGs(持続可能な開発目標)」の活動方向や社会的ニーズにも合致する優れたものです。なお、仮にその事業を興そうとすると「ある程度の準備資金・土地・大型ダンプが入れる道・水源」が必要とのこと、中々ハードルは高いなあと感じさせられた1日でした～。

11月25日(土)、今まで本会を訪ねられた視察団の中では最遠方の岐阜県より「岐阜県庁市町村課視察団 21名」の方々が、午前中「真砂地区」、そして午後から本会を視察されました。その目的は、「ICT技術・IoTデバイスを活用した地域自治組織の取り組み・・・特化した有害鳥獣対策を知りたい」というもので、ここは竹田副会長と佐藤理事の出番！午後2時から2時間近く公民館でみっちり質疑応答に答え、その後羽原の「サル囲い檻」の現場に案内し、実物を見ながらまたひとしきり質問に答えておられました。話を聞いて感じたのは、本会は「人」に恵まれているということ！電話1本で現場に駆けつけてくれる「猟友会メンバー＝本会会員」の体制は、これからも大切にしなければなりませんね！

11月29日(月)、10月11日(月)に開催された「自治組織座談会」の反省会が行われました。今回の座談会後のアンケートを基に、「次回の開催の是非」、「主催」及び「テーマ」等について話し合い、「来年6～7月の開催」、「二条里づくりの会」、「地域マネージャー制と法人化」ということ等が決められました。「横の繋がり、情報交換の場を持ちたい」との会です。これからも継続したいものですね！

## ⑥ こんな地域づくりを行なっています

### なりわい部会

### 《二条ふるさと便事業》



【お中元】



【お歳暮】

本年度は、8月3日(火)にお中元、12月2日(木)「地元注文」、12月20日(月)「近畿益田会注文」のお歳暮を発送。昨年より近畿益田会へ向けての受注活動を始め、今年はお中元は行ないませんが、お歳暮の方は「13箱」の心温まるご注文を頂き、地元の方々からも「お中元：9箱」・「お歳暮：46箱」のありがたいご注文を頂きました。本年度のお歳暮より「3種類」と、内容の違うセットのラインナップを増やしましたので、また1歩前進か！これからは「二条米のブランド化」が待っています！

### ひと部会 ①

### 《次世代育成・交流人口拡大事業》



10月14日(木)、今年で6回目となる「どんぐりの森づくり活動」(森林を守ろう！山陰ネットワーク会議、主催：NPO法人アンダンテ21、島根県企業局源流保全支援事業、協力：本会)が行なわれ、安田小の5年生40名を含む総勢54名が参加！5年も経つと5m近くに育った木もあり、苦勞して植え守り育てることがいかに大切か、泥だらけになりながら子供も大人も学べる、大変有意義な1日でした。滋養豊かな広葉樹の森を取り戻そうとするこの活動、来年以降も継続します！事前の草刈りもお手伝いを求めていますので、興味のある方は是非、ご参加下さい！

### ひと部会 ②

### 《次世代育成・交流人口拡大事業》



10月31日(日)、地区外：6組18名、地区内：22名の総勢40名が参加しての「親子で芋ほり体験会」が、お試体験古民家住宅「つどい」前の畑で行われました。この活動には、地区外の親子にも「田舎体験」をさせてあげたいという想いと、「次世代育成・交流人口の拡大」がテーマとしてあり、今年が3回目となりました。年々参加者も増え、収穫したサツマイモ入りの「豚汁」と羽釜で炊いた「イモご飯」の振る舞いに加え、イモは「お持ち帰り放題！」です。また皆さん、ご参加ください！

### くらし部会 ①

### 《鳥獣対策事業》



11月12日(金)、島根県西部農林水産振興センターの名生啓晃技師を講師にお招きし、桂平小学校の児童・地区民を対象に13:45から14:30の5時間目を使って「クマから身を守る方法研修会」が開催されました。当日は児童17名と大人12名が参加。センターから持って来られた「小籠のはく製」に子供達は興味津々で、クマの生態を伺い、遭遇した時の「対処法」も学んで実践！「サル・イノシシ・アライグマ」もですが、「クマ」は特に「防除」が難しいのです。故に毎年、勉強会を開いています！

### くらし部会 ②

### 《自主防災組織設立・子ども社会教育事業》



11月21日(日)に開催した「収穫祭」では、本年度の「宝くじのコミュニティ助成事業」で導入した「アルミステージ・アルミ製パイプ椅子・アルミ製テント」を初使用し、昨年度の「まちづくり活動特別補助金」で導入した「まかないくん基本セット」も、豚汁づくりで大活躍！アルミ鍋は平均100人分の汁が出来るし、双方全てアルミ製だから軽くてサビにも強く、長持ちすること受け合い！これからの突発的な災害時、当地区での避難所運営に絶大な威力を発揮するでしょう！

### 番外編！

### 《初開催 自治組織座談会》

10月11日(月)、須子町の益田市総合福祉センターで、初の「自治組織座談会」が開催されました。8月のお盆明けより、当初の発起人会「吉田・二条・真砂」3地区の会長・事務局・応援隊員が集まり、構想を練ってまいりました。「コロナ禍」の中で、先ずは「会場」が問題となりましたが、吉田地区自治協議会の久保 稔 会長、池田由岐夫事務局長、石田令子応援隊員のご尽力で、無事センターを確保！当日は、A～D班に分かれてのワークショップ形式で臨んだのですが、『内容は良かったのだが、隣の班の声が聞こえて、聞きづらかった』との感想が聞かれました。如何せん初めての開催でしたので、色々と不手際もあったかも知れませんが、そここのころはご勘弁を！アンケート結果からは、おおむね「85点」は付けられるのではないかと…。来年、また頑張ります！



お問い合わせ先

## 二条里づくりの会

事務局(二条公民館内)

〒698-2254 島根県益田市桂平町76番地1  
Tel・Fax 0856-29-0001

Web: <https://nijo2project.wixsite.com/website>

Facebook: <https://www.facebook.com/nijo2project>



# 島根県益田市美濃地区

まちづくりプラン将来像

「あたたかな絆に支えられ、みんなが安心して暮せる美濃づくり」



(生涯教育・集い・子育て支援・防災・医療など多機能を有した拠点として期待されています。)

## ①地区の概要

【地区の現況】

人口:318人、高齢化率54.1% (令和4年1月末日現在)

【地区の魅力】

地域住民のボランティアにより里山の豊かで美しい景観の維持向上が図られています。近年、耕作放棄地対策や景観向上を目的に、大輪のひまわりを一面に咲かすことで住む人を癒しています。毎年開催される「ひまわり祭り」では、訪れる多くの方々の目を楽しませ交流人口の拡大に繋がっています。

また、中世の山城「桜田城」を地域のシンボルと位置づけ、地元の歴史を学ぶ拠点とすべく整備を進めています。

【地区の課題】

住民が安心して暮せるよう持続可能な地域づくりのため策定した「まちづくりプラン」に則り活動していますが、その原資の大半は住民のボランティアに支えられたものであり、今後自主財源を確保できるような新たな事業展開が必要と考えています。

## ②実施団体の概要

【団体の名称】

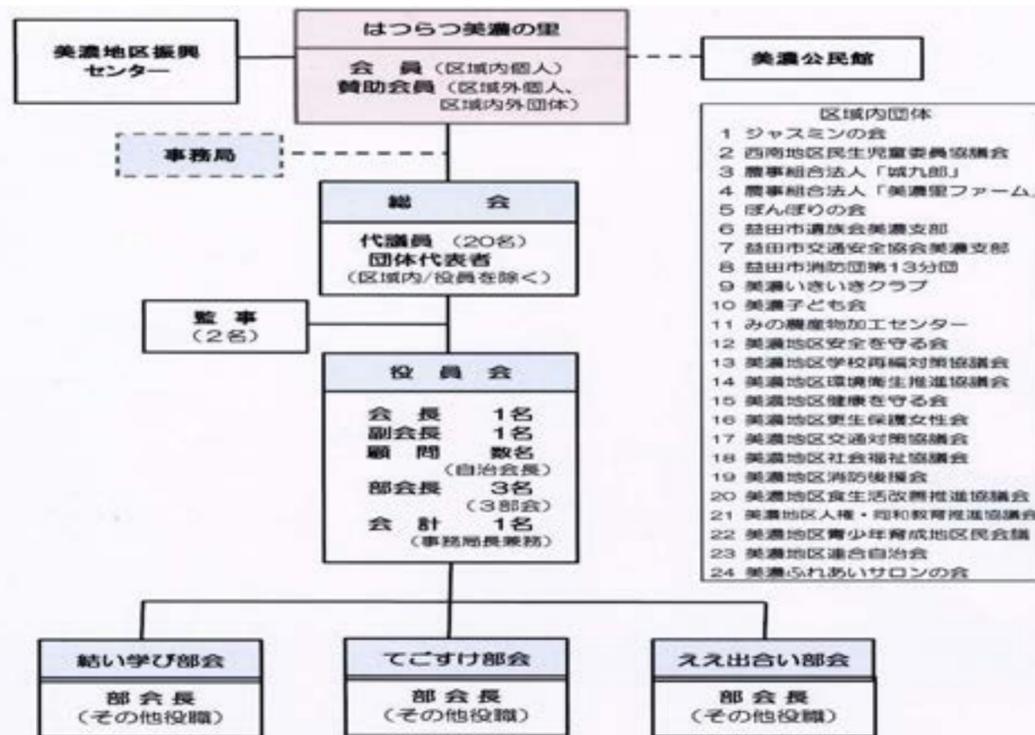
はつらつ美濃の里 [平成29年5月27日設立]

【構成団体、構成員】

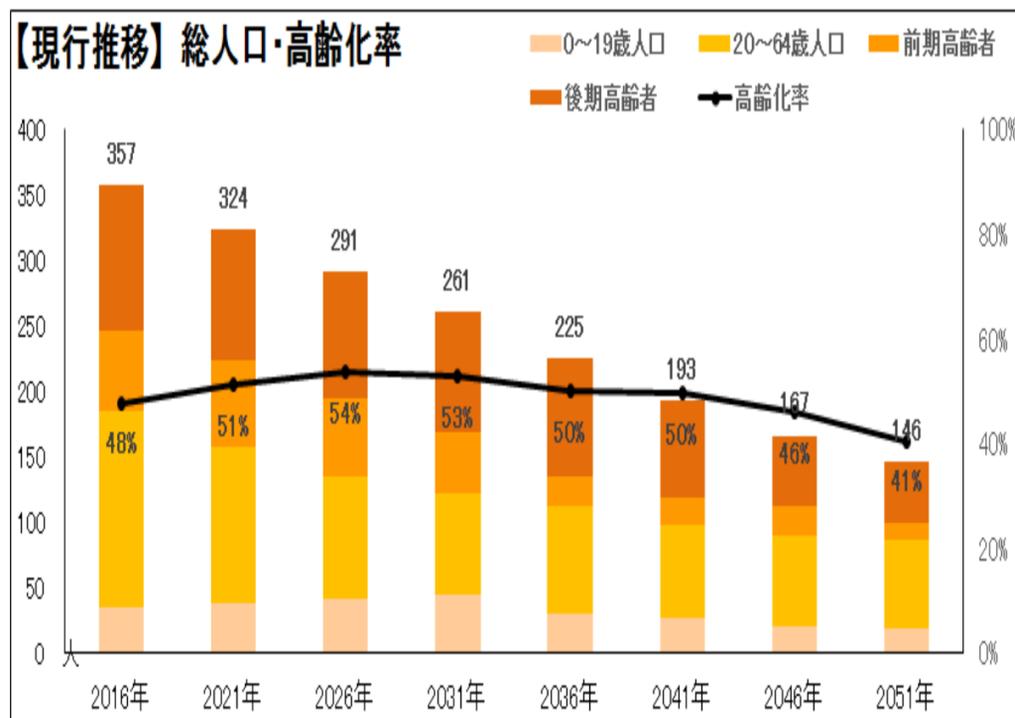
委員数 40名(うち役員 12名)

事務局長(会計)1名、事務局 1名

- ◆ 美濃公民館運営委員・・・9名
- ◆ 自治組織代議員・・・・・・・・・・20名
- ◆ 区域内団体・・・・・・・・・・22名〔重複3名〕



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)



資料：島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

- 「共に学び、絆をつくる」: 結い学び部会
  - ・地域マップ(見守り・防災)づくりのため調査・資料集め
  - ・歴史の掘り起こしと継承事業(伝統行事・山城整備・史跡)
- 「共に支え合える美濃」: てごすけ部会
  - ・外出支援事業「てごすけ号」の運行
  - ・耕作放棄地対策(草刈機器の貸し出し)、おたすけ隊事業
- 「人をつなぎ、未来へつなぐ」: ええ出合い部会
  - ・SNS勉強会を開催、LINEの活用、空き家調査
  - ・地区外への広報誌配布、地区PR映像の作製
- ◆ 「灯り」が照らす地域再生事業: ぼんぼりの会
  - ・流しこいのぼり[春]/ぼんぼりロード[夏]/イルミネーション[冬]
  - ・環境保全整備事業/地区内行事の実行支援
- ◆ 「癒し」がもたらす景観向上推進事業: 美濃ジャスミンの会
  - ・景観保全活動[ヒマワリ]、特産品開発[油、石鹼、クリーム]
- ◆ 地域の「笑顔」で交流促進事業: 美濃ふれあいサロンの会
  - ・今年度はコロナ禍のため中止です。

## 【団体長メッセージ】

急速な人口減と高齢化の波が周辺地域に深刻な影響を与え、生活する上で様々な課題が生じております。その状況を住民自ら少しでも改善しようと、平成29年5月自治組織「はつらつ美濃の里」を立ち上げ、既存の協力団体と共に安心して暮らせ豊かな生活が送れるよう活動を進めております。今後さらに、誇りある地域、持続可能な地域となるよう活動の輪を広げて行きたいと考えております。



# 島根県益田市美濃地区

## ⑤こんなことが話し合われています



定期総会の様子(5月)  
前年度事業報告・決算報告  
新年度事業計画案・収支予算案の承認  
(まちづくり活動特別補助金事業案の検討他、3部会の活動計画及び予算について)  
規約の改正  
役員改選



はつらつ通信(地区広報誌:毎月発行)を美濃にゆかりのある地区外在住者に毎号発送(ええ出会い部会)。これからも絆を大切にしていきます。  
発送部数27部



中世の山城「桜田城」を地元の歴史を学びなおす地域のシンボルとして捉え、環境整備を行い、様々な活動を通し活用されています。また、地元に残る伝統行事の継承を目的に子ども達を招きしめ飾り作りなどを企画し、多世代交流を行なっています。



盆行事開催について協議  
令和元年度より運営主体が公民館から地域自治組織となりました。実施内容に大きな変更はありませんが、自治組織に会計が組み入れられることになりました。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



地区民60余名でひまわり播種



ひまわりで地域を元気に♪

「美濃ひまわり祭り」



鯉のぼり 掲揚



スマートフォン勉強会



グラウンドゴルフ大会



山城健康ウォーク



美濃ふれあい祭り



【〒 699-3766 島根県益田市美濃地町 イ140-1】

地域自治組織:はつらつ美濃の里  
益田市美濃公民館内

TEL:0856-29-0031 [FAX:同] E-mail: [csc-mino@city.masuda.lg.jp](mailto:csc-mino@city.masuda.lg.jp)

facebook <https://www.facebook.com/minotiku/> [はつらつ美濃の里]

お問い合わせ先

# 島根県益田市小野地区

地域づくりのテーマ:「海・山の恵みを活かす小野の里」



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口:1,382人 世帯数:637世帯  
高齢化率:49.57% (令和4年1月末現在)

### 【地区の魅力】

小野地区は、島根県西端に位置し、海岸沿いで山口県萩市と接しており、古来「柿本人麿」生誕地として传承されている。  
益田十景にも2ヶ所が選ばれており、人形峠から見る雄大な景観と三里ヶ浜の観音岩から見る夕日は絶賛され、その他小浜の海岸は、東山魁夷画伯が皇居新宮殿及び奈良唐招提寺の壁画のモチーフにした地である。(写真は観音岩からの夕日)

### 【地区の課題】

少子・高齢化の進行に伴い、拠点となる生活ゾーンの本機能が消失してきており、とりわけ診療施設及び生活用店舗が減少し、生活不安が拡大している。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

夢あふれる小野の里

### 【構成団体、構成員】

- 各自治会の会長・副会長
- 地区老人クラブ連合会会長
- 地区食生活改善推進協議会会長
- 地区民生児童委員協議会民生児童委員(女性委員)
- 交通安全協会支部長
- 地区青少年健全育成協議会会長
- 地区更生保護女性会会長
- 地区健康と福祉を推進する会会長
- 商工会支部代表
- 小野中PTA会長
- 一般会員
- 地区民生児童委員協議会会長
- 地区社会福祉協議会会長
- 自主防災組織連絡協議会会長
- 益田市消防団第14分団長
- 地区交通安全協議会会長
- 地区安全を守る会会長
- 地区つろうて子育て協議会代表
- 学校再編対策協議会会長
- 子ども会代表
- 地区人権・同和教育推進協議会会長

### 【団体の組織図】

#### 《役員会・運営委員会の構成》

(役員会)  
会長・副会長・事務局長  
理事(4名)・部長(3名)  
副部長(3名)

#### 《運営委員会》

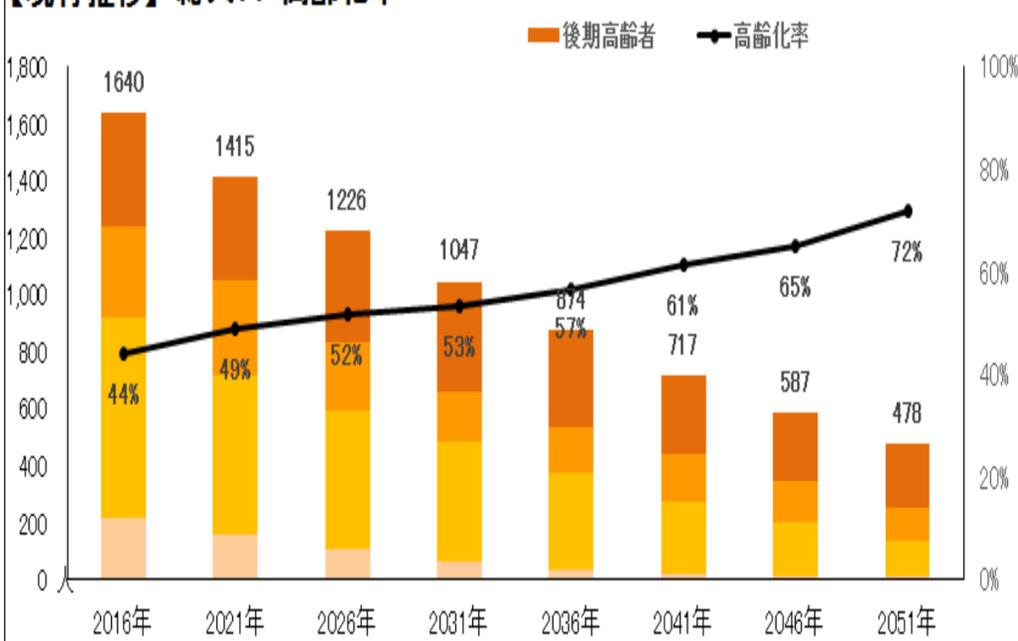
構成員  
(団体代表)  
35名

構成員  
(一般)  
15名

【サポート】  
小野公民館

## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料:島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

### ■ 小野探訪ウォーキング

平成27年度から毎年各地区持ち回りで会場を設定し、取組んでいる。(令和2年度、3年度はコロナ禍のため中止)

### ■ おの産直市

令和元年度より本格的に取組を開始し、当面は年間3回の開催を目標としている。

(令和2年度、3年度はコロナ禍のため1回ずつ実施)

### ■ 「子ども見守り活動」の実施

令和2年度から活動を開始した。

### ■ 「草刈り隊」の活動開始

令和2年度から活動を開始した。

### ■ 休日カフェ

平成30年度から、地区内有志の方による「まるCafe」を開始した。(令和2年度、3年度はコロナ禍のため活動を休止)

※詳細については次ページに掲載。

## 団体長の写真



## 【団体長メッセージ】

コロナ禍で活動が大きく制約された4年目、5年目でした。第1次地域づくりの5年間を総括するとともに第2次の3か年計画立案のために会合を重ねた1年間でした。明るい話題として、へき地巡回診療所が9月から小野公民館で月2回のペースで開設され、安全・安心度の向上につなげたいものです。他方、人口減に伴う鳥獣被害対策も他所事ではなくなりました。「海・山の恵みを活かす」ために、里山の竹林雑木保全や海浜の観光資源化も視野に入れたいものです。  
(夢あふれる小野の里 会長 大賀 敏郎)

# 島根県益田市小野地区

⑤こんなことが話し合われています。



## 【役員会】

「第1次地域づくり計画」が最終年度を迎え、次年度以降の「第2次地域づくり計画」を策定するにあたり、各部会でまとめられた事業計画(案)等について、熱心な討議を行った。



## 【防災環境部の会議・取組】

防災意識向上に向けた取組みとして、戸田小学校児童に「防災標語」を作成依頼し、作品を掲示板に掲示した。若者の活動として、灯籠に灯りを灯すイベントを開催し、同部会において支援した。



## 【健康福祉部の会議・取組】

地区内施設に設置されているAEDの室外管理に向けて、昨年度から取組みを実施しており、残り2施設に専用ボックスを設置した。また、「AEDマップ」を作成し、設置状況を地区民に周知した。



## 【生涯学習産業部の会議・取組】

生涯学習産業部では、主に「小野探訪ウォーキング」や「おの産直市」の実施計画等について、協議を行った。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



## ■ 「小野地区草刈り隊」の活動 (防災環境部会の取組)

独居高齢者世帯が増えており、家周辺の草刈等の環境整備を支援をすることを目的として、令和2年度より「小野地区草刈り隊」の活動を開始した。

各自治会より隊員を選任し、要望に沿って作業を実施している。

\* 有料実施

## ■ 「子ども見守り活動」の実施 (防災環境部会の取組)

地元戸田小学校児童の登下校時の見守りや、日常生活時における「ながら見守り」等を活動内容として、令和2年度より「小野地区子ども見守り隊」活動を実施している。各地区において選任された隊員さんが、コロナ禍にも負けず連日子どもたちと大きな声で「あいさつ運動」を展開されている。

## ■ 「おの産直市」の取組 (生涯学習・産業部会の取組)

前年度同様に「新型コロナウイルス感染予防」を考慮し、感染状況が安定している12月に第1回目となる「産直市」を実施した。

好天に恵まれ、久々のイベント開催ということもあり、市内外から約150名の方が来場者された。出品された殆どの産物等が売り切れとなる賑やかなイベントであった。

## ■ 「まるCafe」の実施

地区内有志の方々が積極的に協議を重ね準備を進めてきたが、昨年度に続き「新型コロナウイルス感染防止対策」を考慮し、今年度も開店しないことを決定した。



## ■ 「へき地巡回診療所」の開設

本会設立当初より、診療所開設検討委員会を設置し、地元への医療機関設置に向けて益田市及び保健所等関係機関と協議を重ねてきたが、本年9月から小野公民館を診療所として、毎月2回(隔週)の診療を開始した。

定期的に投薬治療を希望される複数の方が利用されている。

(写真は開設セレモニーの様子)

お問い合わせ先

夢あふれる小野の里

〒699-3763

益田市戸田町イ501番地

電話・FAX: 0856(28)0001

フェイスブック: @hitomaro201707

# 島根県益田市中西地区

地域づくりのテーマ：「いつまでも、いきいきと、暮らし続けられるまちへ」



## ①地区の概要

【地区の現況】(令和4年1月末時点)

人口:1,785人、世帯数:794世帯、高齢化率:41.8%

市の中心部から西に約10kmのところのところに位置し、高津川・白上川流域の平坦な田園地帯と棚田(日本棚田100選)その周辺の山間・丘陵部で構成されている地域です。

【地区の魅力】

- ・大道山と麓に広がる中垣内の棚田
- ・平坦な土地に広がる田園・農園
- ・国営西部開パイ事業
- ・石見臨空ファクトリーパーク

【地区の課題】

- ・交通支援対策
- ・不法投棄問題
- ・有害鳥獣駆除対策

## ②実施団体の概要

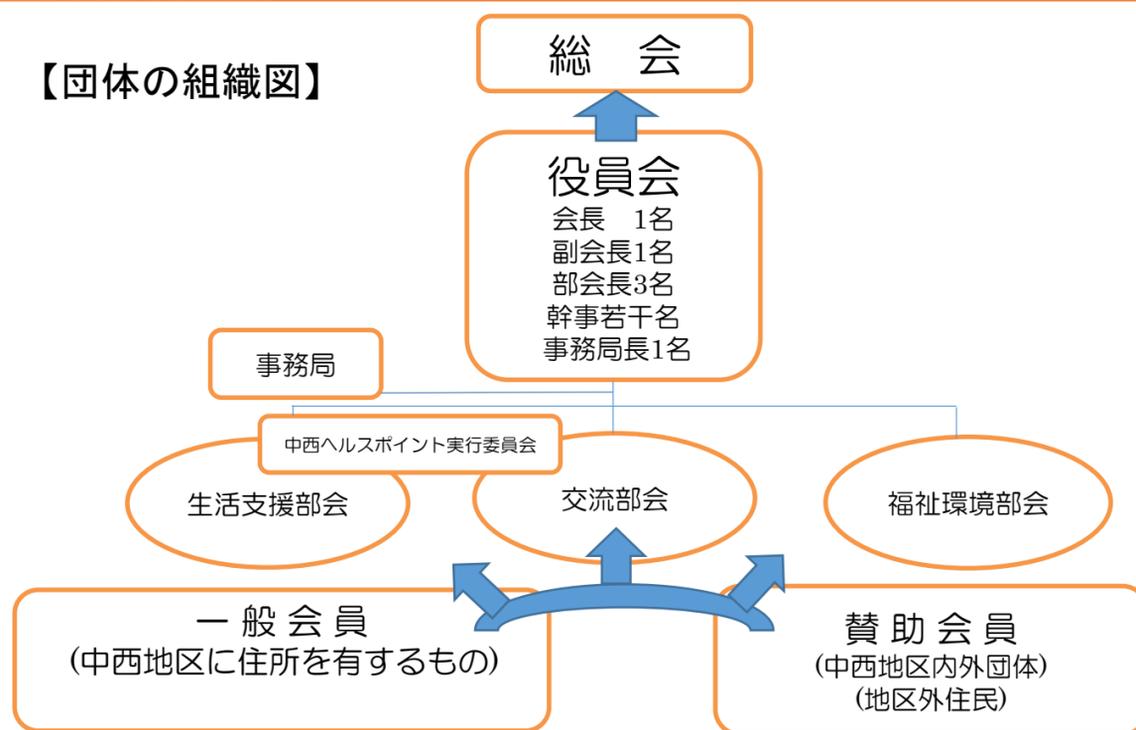
【団体の名称】

なかにし地域づくり協議会

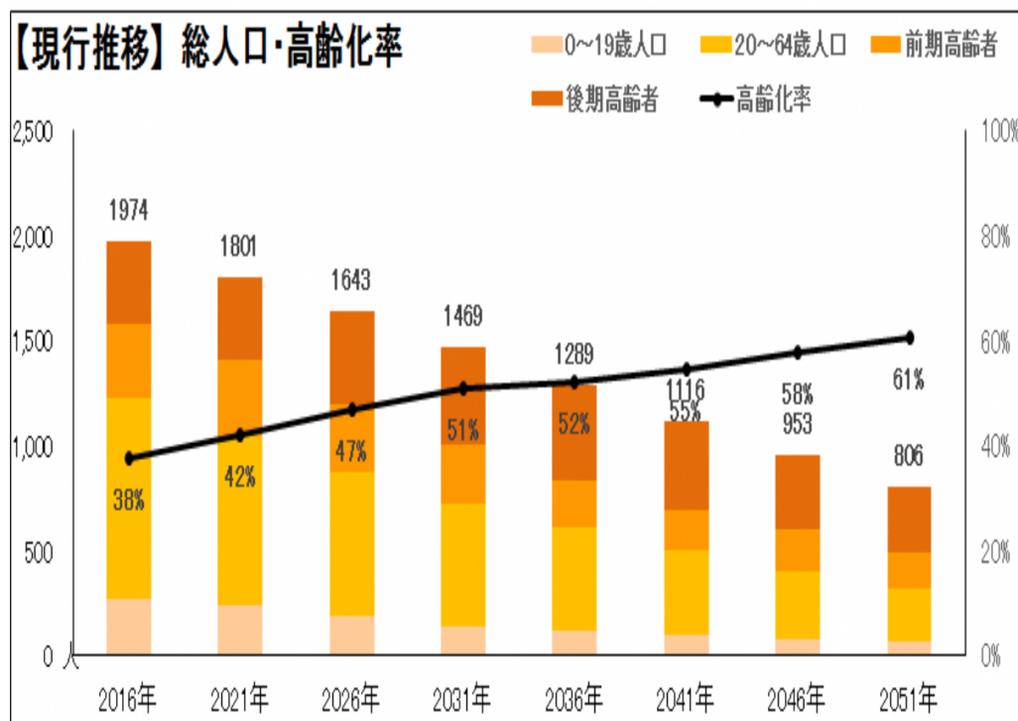
【構成団体、構成員】

- ・各運営委員会
- ・地区連合自治会会長会
- ・地区老人クラブ連合会
- ・地区不法投棄見廻り隊
- ・地区食生活改善推進協議会
- ・地区小・中学校
- ・中西ヘルスポイント実行委員会
- ・中西いき生き市実施委員会
- ・中西なんでもお助け隊 など

【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)



資料：島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

○地域自治組織「なかにし地域づくり協議会」設立

◆生活支援部会

高齢となってもいつまでも生活するための支え合う仕組みづくりまたは定住促進

- ・交通対策
- ・なんでもお助け隊
- ・空き家対策

◆交流部会

世代間交流を活発にするとともに、地区外に出られた人に情報の発信をし、交流を深める。またこれらの活動を通じ小中高生にふるさとに愛着が持てる心を育てる

- ・いき生き朝市
- ・ふるさと通信
- ・ふるさと宅急便

◆福祉環境部会

いつまでも中西の地で暮らし続けられる様に生活環境の整備をする

- ・不法投棄見廻り隊
- ・花いっぱい運動
- ・荒廃農地活用
- ・有害動物対策

## 【団体長メッセージ】

「なかにし地域づくり協議会」は、昨年3月に自治組織を立ち上げ、もう少して1年が経とうとしております。この間、3つの部会で協議し、事業計画等を決めて進めて参りました。まちづくりプランにある様に住民の無理のない参画により事業推進を進めたいと考えており、今までに中西独自で取り組んでいるヘルスポイント事業を充実し自立する地域を目指します。今後の課題としては、通院・買い物の交通支援対策の仕組みづくりを早急に進めなければならないと考えております。



# 島根県益田市中西地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### 設立総会・第1回定期総会

令和3年3月30日に地域自治組織「なかにし地域づくり協議会」が設立されました。



### 各部会

8/25 生活支援部会  
8/26 交流部会  
8/27 福祉環境部会  
予算案やこれからの活動について話し合いを進めています。



### 交通支援対策説明会

10月7日に種地区で行われている高齢者生活輸送の説明会を開催し、部会員の方たちと中西に適した仕組みづくりに向けて協議しました。



### 不法投棄見廻り隊

12月11日合同パトロールの前に意見交換を行い、不法投棄の現状やこれからの対策について話し合い、パトロールする場所を決定しました。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### なんでもお助け隊



中西ヘルスポイント制度の一環として平成27年から本格的に始動しました。草刈り・庭の手入れ・病院の付き添い等を行っています。

### いき生き朝市



毎月第3土曜日に開催し、地域の方々が作られた野菜や果物、惣菜、魚などを販売し、子供から高齢者まで交流の場として好評となっています。

### 不法投棄見廻り隊



黄色のジャケットを着て見回りすることによりゴミ拾いだけでなく行き交う人への啓発にもなっています。今年度は益田阿武線(川登～二条)をパトロールしました。

### 花いっぱい運動



自治会ごとに花木を植栽していただき美しい中西地区を目指しています。

### イノシシ用箱罾貸し出し



地区内のイノシシ対策として箱罾を貸し出しています。

### 有害鳥獣駆除対策



「動物駆除用煙火消費保安手帳講習会」を毎年開催し、有害動物駆除用花火を使用出来る方が増えてきています。

お問い合わせ先

〒698-2141  
島根県益田市白上町イ743-2  
「なかにし地域づくり協議会」(中西公民館内)  
TEL・FAX: (0856) 28-0501 E-mail: csc-nakanishi@city.masuda.lg.jp



# 島根県益田市東仙道地区

地域づくりのテーマ: 助け合えるまちづくり



## ①地区の概要

【地区の現況】(令和4年1月末現在)

■人口 715人 ■世帯数 359戸 ■高齢化率 48.1%

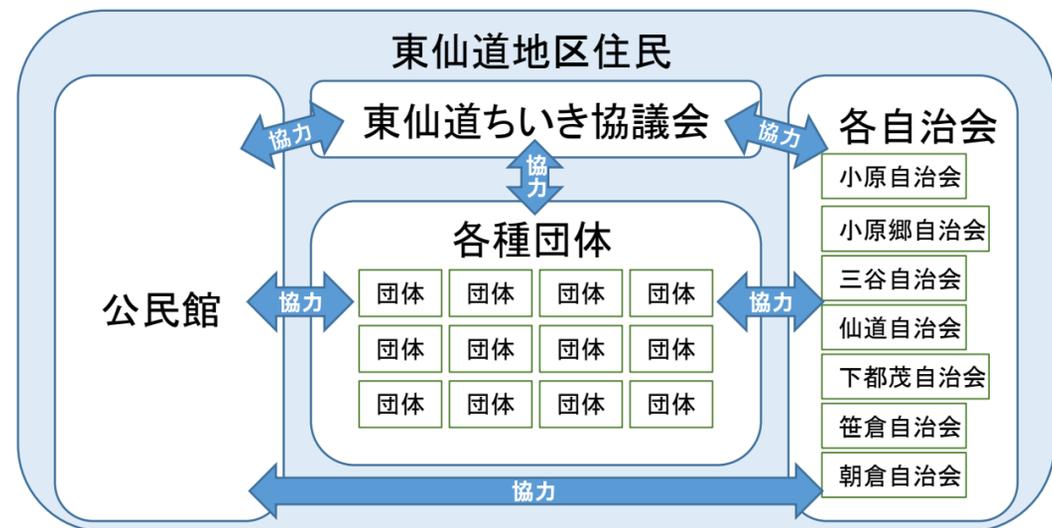
### 【地区の魅力】

多くの自然と歴史があり、その中でも四ツ山は東仙道を語る上で欠かせない存在です。また、「ひだまりパークみと」にはグラウンド・ゴルフ場、さくらドーム、サッカー場があり、市内外から多くの利用者が訪れています。特産品は柚子やいちご、米、ベビーリーフなどの農産物で、いちごについては、いちご狩りが観光交流につながっています。

### 【地区の課題】

少しずつ新しい家が建ち、子育て世代の家族が増えていますが、一方で市営住宅等に住む子育て世代の所得が上がるとともに家賃も上がり、地区外への転出を余儀なくされているという現状もあるので、変わらず保育所や小学校の児童減少が課題となっています。また、高齢者の独り暮らしや空き家が目立ってきたほか、担い手不足により除草作業等の生活環境維持が困難になりつつあります。

### 【団体の組織図】



## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

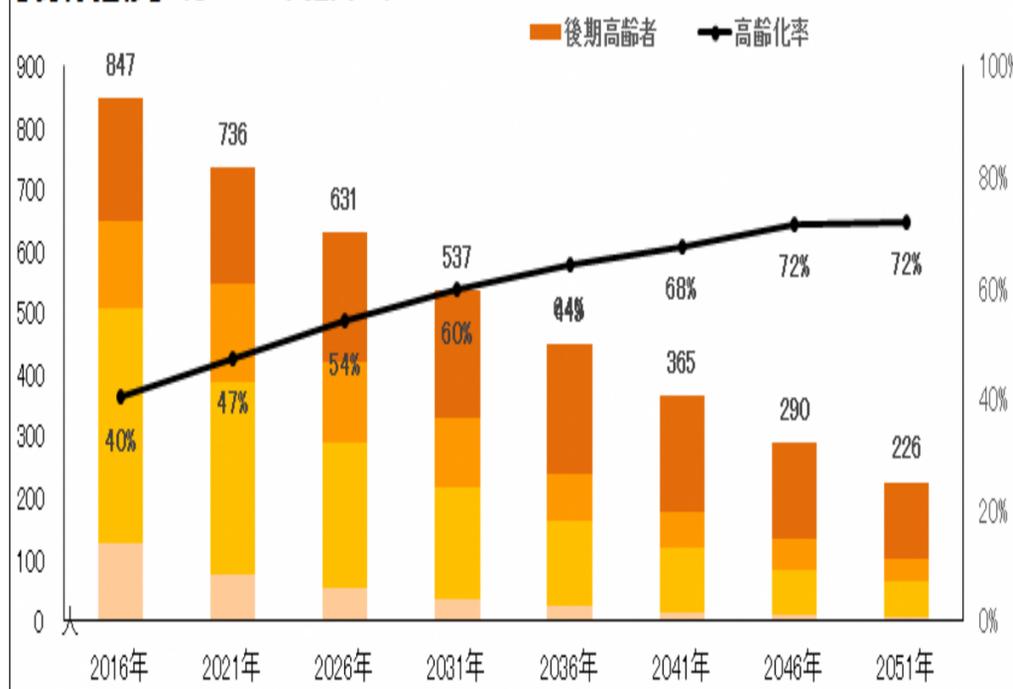
東仙道ちいき協議会

### 【構成団体、構成員】

仙道自治会 小原郷自治会 小原自治会 三谷自治会  
 下都茂自治会 朝倉自治会 笹倉自治会  
 東仙道老人会連合会 東仙道青年団 東仙道婦人会  
 東仙道小学校PTA 他22団体、14企業

## ③地区の人口シミュレーション(2016年ー2021年)

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

### ■東仙道お助け隊

平成28年度に発足し、活動を続けています。

令和3年度は、草刈りと木の伐採等合わせて19件の依頼があり、のべ38名の隊員が作業にあたりました。

### ■ふるさとカレンダー事業

6年目となる今年度は「東仙道地蔵コレクション」をテーマに、各地区のお地蔵さんを紹介したカレンダーを作成しました。

### ■東仙道寺子屋事業

放課後に小学校の空き教室を利用し、地域の方に見守っていただきながら宿題を済ませて帰るといった寺子屋事業が4年目となりましたが、今年度も新型コロナウイルス感染防止対策として実施を見合わせました。

### ■東仙道花園ライトアップ事業

昨年度「まちづくり活動特別補助金」を活用し実施した、彼岸花や、もみじ、桜など、1年を通して東仙道に咲く花や自然等をライトアップする事業を今年度も引き続き実施しました。

### 【団体長メッセージ】

今なお先の見えないコロナ禍における今日、昨年度に引き続きなかなか事業ができない状況にありますが、今後はこの状況の中地域行事を進めていかなければなりません。

どのようにしたら可能になるのか、いろいろ工夫をしながら進めていきたいと思っております。

東仙道ちいき協議会会長 草野和馬



# 島根県益田市東仙道地区

## ⑤こんなことが話し合われています



総会は通常通り開催することができましたが、全体会議は2回行なったのみで、会議をほとんど開催することができませんでした。

各イベントの実行委員会では、どのようにしたら開催できるかを模索し、活発な意見交換が行なわれました。

その他「議会報告会」や「市長と語る会」ではちいき協議会委員も参加し、地域住民の参加者と共に意見を交わしました。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### ■互助部会・・・東仙道お助け隊

高齢などの理由によって、草刈りが困難になった方の代わりに草刈りを請け負うのが基本ですが、木の伐採や空き家の草刈りなど多岐にわたっての要望があり、出来る範囲で作業にあたりました。

また、(株)キヌヤさんの協力で行っている「お買い物バスツアー」も好評です。今後はニーズの把握と利用者の拡大に努めていきたいです。

### ■地域活性化部会・・・ふるさとカレンダープロジェクト、東仙道桜を見る会、四ツ山歴史ウォーキング、運動会、文化祭

「ふるさとカレンダー」は地区の魅力を再発見してもらおうと毎年テーマを変えて続けています。今年度は「東仙道地蔵コレクション」をテーマに、各地区のお地蔵さんをマップ形式にして紹介するカレンダーを作成しました。

自分が住んでいる地区に今一度目を向けるきっかけになればと思います。

「東仙道桜を見る会」はいちごと持ち帰りの食べ物みの販売という形で縮小開催しました。

「四ツ山歴史ウォーキング」「文化祭」は開催の方向で進めていたにも関わらず、直前になって市内で感染拡大したため中止となりました。

### ■福祉健康部会・・・東仙道寺子屋、グラウンド・ゴルフ大会

放課後に小学校の空き教室を利用し、地域の方に見守っていただきながら宿題を済ませて帰るという寺子屋事業が4年目となりましたが今年度は新型コロナウイルスの影響で開催できませんでした。

今後は、見守りボランティアの増員や事業の広がりについて協議していきたいです。

昨年度は開催できなかった「グラウンド・ゴルフ大会」は感染対策を行なったうえで通常通り開催することができました。

### ■東仙道ちいき協議会・・・東仙道花園ライトアップ事業

東仙道の自然を中心に四季を通じてライトアップし、地区の景観を良くするほか、写真映えスポットとして地区内外へ魅力を発信し、交流人口増加を目指す東仙道花園ライトアップ事業を昨年度の「まちづくり活動特別補助金」を活用して行いました。

今年度も引き続き、9月は彼岸花、10月～11月はもみじ、11月～1月まで神宝山八幡宮の鳥居をLEDソーラーライトでライトアップしました。3月にはアグリみとの水仙やひだまりパークみとの桜をライトアップする予定です。

昨年度の反省を活かし、ライトの角度や設置位置など改善しながら取り組みました。

また、今年度はLEDソーラーライトを買い足したので、4月はひだまりパークみとの桜以外の桜をライトアップする予定です。

### ■東仙道ちいき協議会・・・東仙道プロモーション事業

今年度購入したドローンやアクティブカメラを使って、東仙道の様々な行事の様子や、各地区を上空から撮影し、SNSや動画投稿サイトでプロモーションする事業です。

初年度となる今回はドローンや編集ソフトの操作練習をしました。

いずれは各地区をドローンで撮影したものを公開し、希望があればDVDにしたいと考えています。



お問い合わせ先

〒698-0212

島根県益田市美都町仙道253-1

東仙道ちいき協議会【事務局】東仙道公民館内

TEL:0856-52-2540

FAX:0856-52-2193

東仙道ちいき協議会Facebook

<https://www.facebook.com/higasisendo/>

映え！東仙道Instagram

[www.instagram.com/higashisendo/](http://www.instagram.com/higashisendo/)



Facebook



Instagram

HIGASHISENDO

# 島根県益田市都茂地区

地域づくりのテーマ: 「住みよい都茂、住みたい都茂、住み続けられる都茂」



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口、高齢化率

人口 853人、世帯数 452世帯、高齢化率 53.1%  
(令和4年1月末現在)



### 【地区の魅力】

都茂地区は春の桜、秋の柚子。自然に囲まれた豊かな土地。

人が優しく、治安が良い。旧美都町の中心地であったことから、総合支所、農協、郵便局、診療所、老人ホーム等があります。

### 【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、買い物不安、交通対策、農地の管理、鳥獣被害対策などたくさんの課題があります。

平成26年3月から、都茂地区連合自治会が交通弱者の移動手段を提供する自治会輸送活動に取り組んでいます。

令和2年4月都茂地域自治組織 ささえ愛都茂が引き継いでいます。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

都茂地域自治組織「ささえ愛 都茂」

### 【構成団体、構成員】

自治会長、企画運営委員、会員

ささえ愛都茂～3つの柱

#### ① 暮らしを守る

住んでる人が安心して暮らせる環境をつくります。

#### ② 生活環境を守る

きれいな環境は、安全な生活、鳥獣対策につながります。

#### ③ 地域の資源を活かし活気を創る

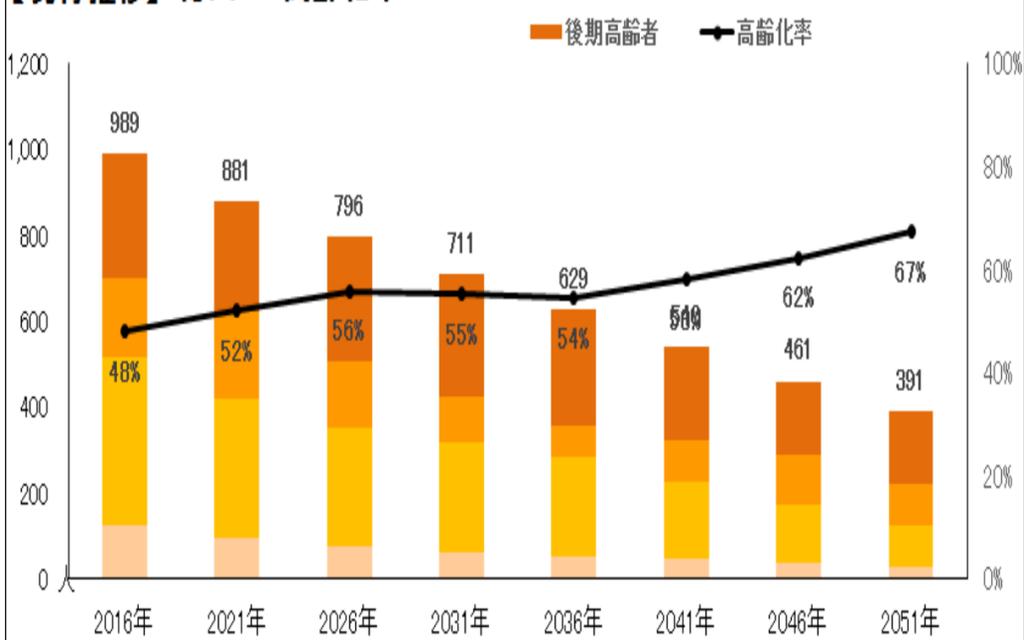
住んでいる人が生きがいを感じ、活気あるまちづくりをします。

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

地元企業の【(株)みと】さんと共同で、いきいき部会が中心となって【都茂クッキー】を開発しました。このクッキーを地元のお店やイベントで販売し、都茂のお土産として、都茂を知ってもらうきっかけになればいいなと思っています。形は桜(イチゴ味)と自然をイメージした葉っぱ型(抹茶)あと都茂は猪肉が販売されているのでその関連になればと思い、イノシシ型(ココア味)にしてみました。その3種類の型をモチーフにした木製ストラップも作り販売しています。(加工協力【ギフト工房 樺-けやき-】) 美都温泉やサンエイト美都などで販売しています。



### 【団体長メッセージ】

#### ささえ愛都茂 結成2年目

地域自治組織が発足し各部会活動も活発に進んでいます。偏に役員、会員の皆様の前向きな発想の現れと安堵しています。地域活性化が理想であり、住民の思いを拾い上げて都茂地区が少しずつでも住みよい町となる環境作りを一緒に取り組んで参りたく思います。



# 島根県益田市都茂地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### ◆暮らし部会

災害時には、自分はどう行動すればいいかを知ること、そして個人の行動が全体として同じ基準でなされることが大切です。そのために、災害時にどのように行動し避難すればいいかということをまとめた都茂地区全域の防災マップを去年の3月に完成し、住民に配布しました。



### ◆いきいき部会

・都茂鉱山跡の活用  
都茂鉱山跡が日本遺産の構成文化財都茂鉱山跡を軸にしたまちづくりを進めて行きました。3月には清掃活動を行いました。活動特別補助金で歩道工事をする予定です。少しずつですが安全に都茂鉱山へ行けるようにこれからも整備活動をしていきます。



### ◆環境部会

環境部会では「お助け隊」を立ち上げ地域の生活環境を守っていくお手伝いをします。市道や農道・林道・集落生活道の草刈りを中心にしています。去年から活動開始し、少しずつ依頼を受け町を綺麗にしています。これからお助け隊の名が広まっていけば嬉しいです。



### ◆いきいき部会

・都茂クッキー  
お土産品として開発し都茂鉱山や桜の関連イベントなどにも活躍できればと思い、都茂クッキーを作りました。現在販売中です。  
・都茂マップ  
都茂地区の資源やイベントを盛り上げ、もっと知ってもらうために都茂地区のマップをつくる計画を立て、着々と進めています。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています(ささえ愛都茂の名を広める)



### ②イベント R3 10月31日

ふれあいホールみとで開催された『健康ますだ市21フェスティバル』のフリーマーケットで、都茂クッキーを販売しました。予想以上の売上で嬉しかったです。12月12日には、鎌手のニコニコフリーマーケットにも出店参加しました。

### ③都茂地区文化祭 R4 1月31日～2月5日

いきいき部会初参加で抽選会を担当する予定でしたがコロナで中止になり展示だけの文化祭になりました。かわりに展示の部でアンケート抽選会をする事になり、アンケートに答えた方には抽選で地元企業の景品を贈ることにしました。ささえ愛都茂も自治組織について展示しました。



### ③交通弱者対策

#### ●都茂地区連合自治会輸送「ささえ愛」号

この業務は、令和2年4月より都茂地区自治会より引き続き暮らし部会が行っています。今年で通算7年目となり、地域の高齢者等の外出手段として無くてはならない活動となっています。全体的に人口減少、高齢化により運転手の減少が予想されるため、引き続き運転手の確保を図ります。



### ④除雪隊

積雪時、子どもの安全を守るためボランティアの方が除雪を行い、通学路を確保します。都茂地区は大きく分けて山本地区、都茂地区、丸茂地区に分かれ、連携しながら除雪隊が活動します。

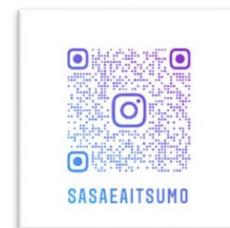
### ①ささえ愛都茂

#### ポロシャツ、ジャケットを作りました

ささえ愛都茂専用のポロシャツとジャケットです。都茂といえば、桜や柚子をイメージした物が多いと思いますが、それ以外のデザインにしたいと思い、イノシシのキャラクターにしてみました。都茂では猪肉を加工し販売しています。さくらと柚子だけではない事をアピールしたいという思いが込められています。これを着てささえ愛都茂が少しでも広まれば嬉しいです。

お問い合わせ先

〒698-0203 益田市美都町都茂1692-甲  
地域自治組織 ささえ愛都茂  
【事務局】ふれあいホールみと 都茂公民館内  
TEL 0856-52-2295  
FAX 0856-52-2296



# 島根県益田市二川地区

地域づくりのテーマ: 自然とともに 人とともに生きる 温もりある二川



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口174人 93世帯 高齢化率60.3% 1自治会  
(令和4年1月末現在)

### 【地区の魅力】

国道191号線沿いに、温泉・道の駅・宿泊施設・飲食店などの施設があり地区外の方が多く訪れます。令和元年度より、柴犬の祖「石号」の存在を地域資源として生かそうとしています。

### 【地区の課題】

人の流れが戻った時に、体験と柴犬の聖地への受け入れができるよう準備を進めています。また、交流施設の運営に向けてコロナ禍で足並みをそろえ、地域でできることを煮詰めています。

## ②実施団体の概要

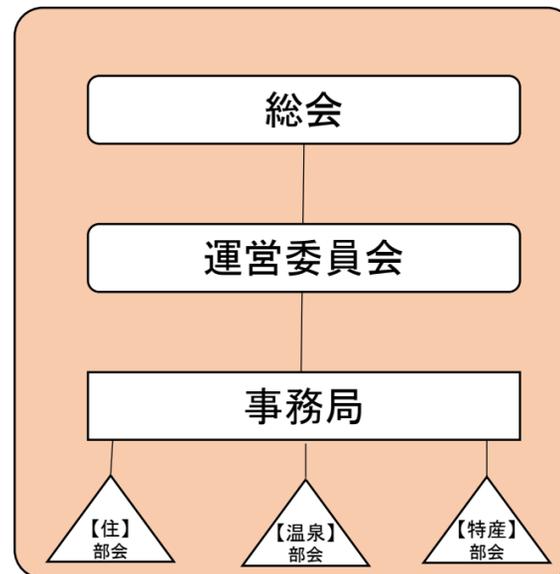
### 【団体の名称】

ぬくもりの里 二川

### 【構成団体、構成員】

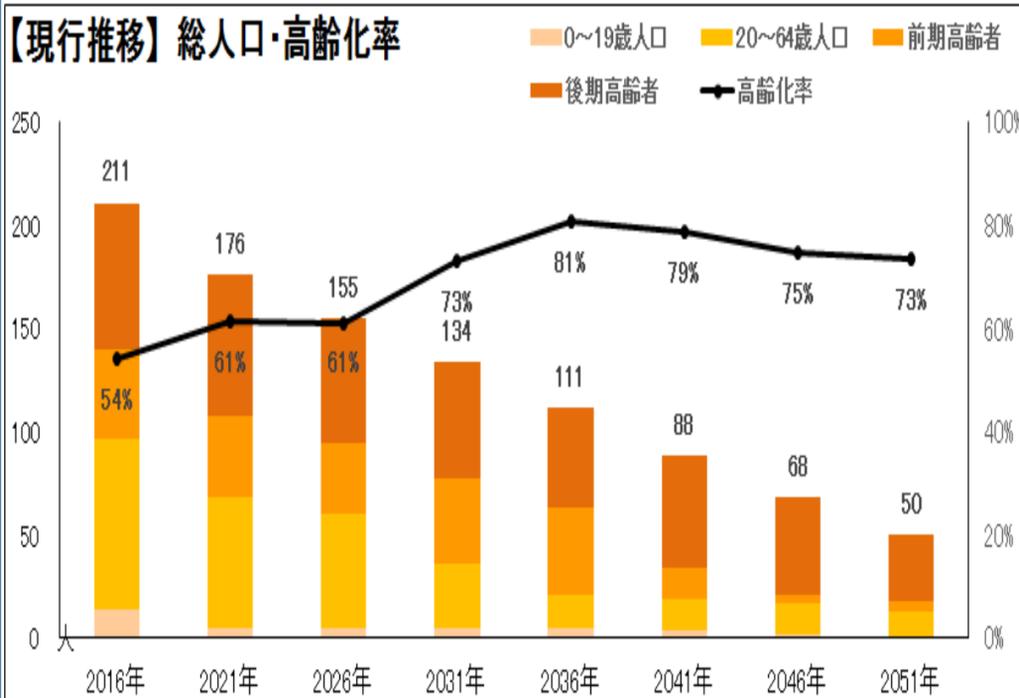
自治会  
婦人会  
双寿会(老人クラブ)  
(株)エイト  
二川やるき人間の会  
営農組合「一心田助」  
蓬の会(加工グループ)  
公民館運営委員  
地区住民

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016年-2021年)

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組(概要)

### 【会全体で取り組むもの】

- ・交流施設の運営準備に向け法人化
- ・体験事業の創出

### 【部会で取り組むもの】

- ①住民の住みやすさ  
買い物支援 外出の機会創出 困りごと相談
- ②地域の賑わい  
温泉モーニング
- ③特産  
柴犬の里としての整備 湧き水の整備

地域マネージャー制度を使い、事務局を2人として体制を強化しています。



### 【団体長メッセージ】

地域自治組織を立ち上げてから5年が経ち、次の5年の目標を見据えた活動を展開していきたいと思ひます。特に、学校跡施設を活用した交流施設については、二川はもとより益田市全体の賑わいづくりの拠点となるよう計画しています。まずは二川のできることを整理しながらひとつひとつ形にし、将来は地域を超えて交流の展開できる関係を築き、組み合わせながら関係人口増につなげていきたいと思ひます。

# 島根県益田市二川地区

## ⑤こんなことが話し合われています



### わくわくする話

次世代の地域活動の拠点として、これから施設を使う人の意見をまとめるために、「公民館でしたいこと」のワークショップも5回開催しました。地区内で性別や年齢を超えた交流がしたいという意見が多数でした。



### 学生との関わり

ユタラボ企画の「ライフキャリアを考える一日」を二川で開催。県立大学生に休日の二川を歩いてもらい、のんびりと過ごす地域の人々の素顔に触れてもらいました。



### 臨時総会

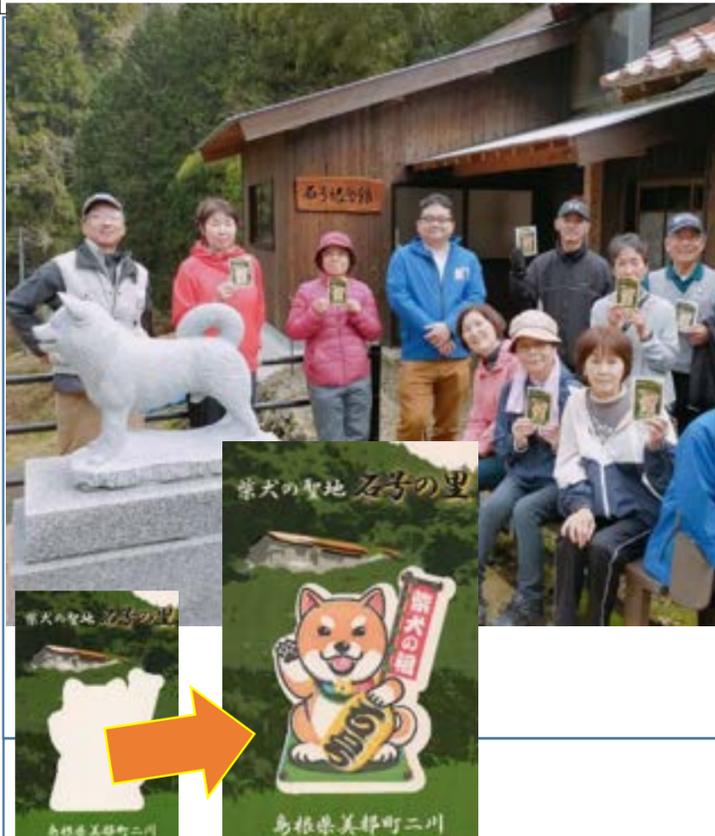
コロナ禍で「交流施設ができるだろうか」の心配を払拭し、個々の協力を合わせて実現できるよう足並みをそろえました。年度後半には、総意をまとめた計画書の提出を目前に、確認作業を地域全員で進めています。



### 運営委員会

地域自治組織の活動充実を見越して組織の一般社団法人を決定。立ち上げ方法や地域の関わりを専門家と協議し準備しています。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



### 石号キャラクタースタンプラリー

昨年作った石号キャラクターとお散歩マップを使い、スタンプラリーを制作しました。

二川地区の名所5か所(5色)を巡り、重ね捺しでポストカードを完成させます。これまで美都温泉や道の駅などの単独利用だったものを連結する効果と、地域への滞在時間を増やします。



### 古民家の改修

「二川に若者に住んで欲しい」ということで、若者や地域の人で少しずつ時間を合わせ、屋根の修理やフローリング張りなど、空き家を一軒リフォームしました。入居する管理人さんには、地域の魅力を発信してもらう予定です。

なかなか人を招く状況にありませんが、コロナの合間に若者で意見交換会を開催しました。



### うずめ飯

日本5大飯として、有名な津和野だけでなく、石見地方に広く伝わるうずめ飯。味の特徴をまとめてみると、二川地区のうずめ飯に共通する点は色が黒めでとろみ強く、他地区のさらっとしたものとの違いが見えてきました。

特色を生かして、月一回の温泉モーニングでの販売や体験事業につなげて、地域の味を伝えていきます。

今年度は地域の高齢者から、昔ながらの作り方を習いました。

お問い合わせ先

〒698-0202 島根県益田市美都町宇津川口377-3  
益田市二川公民館内 ぬくもりの里二川事務局  
TEL: 0856-52-2552

ホームページ: <http://nukumori-sato.main.jp/> メールアドレス: [nukumori-sato@maro-v.jp](mailto:nukumori-sato@maro-v.jp)

# 島根県益田市匹見上地区

地域づくりのテーマ: 自然とともに澄み(住み)続けたい郷づくり



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

◎ 人口612人 ◎ 世帯385世帯 ◎ 高齢化率62.09%  
(令和4年1月末時点)

### 【地区の魅力】

綺麗で澄んだ川の清流、西中国山地国定公園の裏匹見峡をはじめとした豊かな自然、1000mを超える山々、縄文時代を中心とした数多くの遺跡。

綺麗で澄んだ川の水で育ったわさび、鮎は美味しく、特にわさびは市外からの人気も集めています。

### 【地区の課題】

人口減少、高齢化、広範囲な地区、買い物、通院、交通、鳥獣被害など、様々な課題がありますが、これからの匹見上をどのようにしたいかは匹見上地区全員で考えていかなければいけないと思っています。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

匹見上 清流の郷 (R1. 9. 27設立)

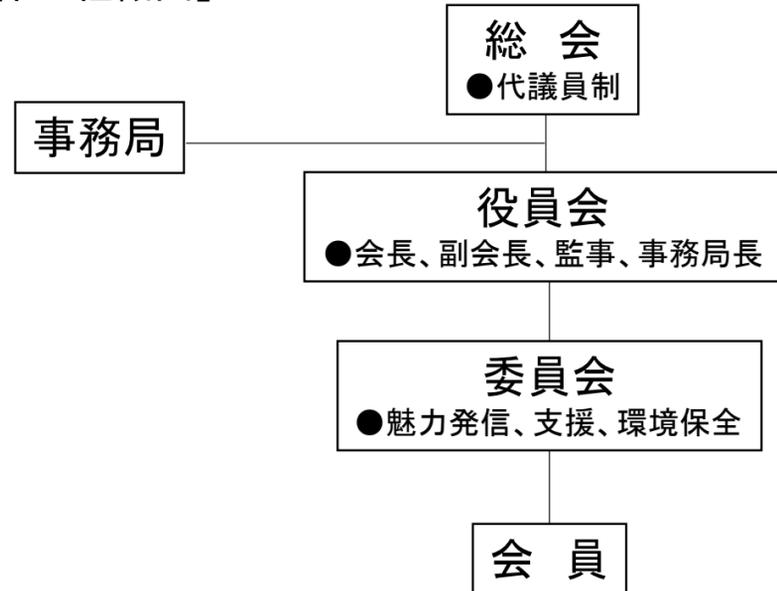
### 【構成団体、構成員】

◎各自治会(23自治会)

◎各種団体

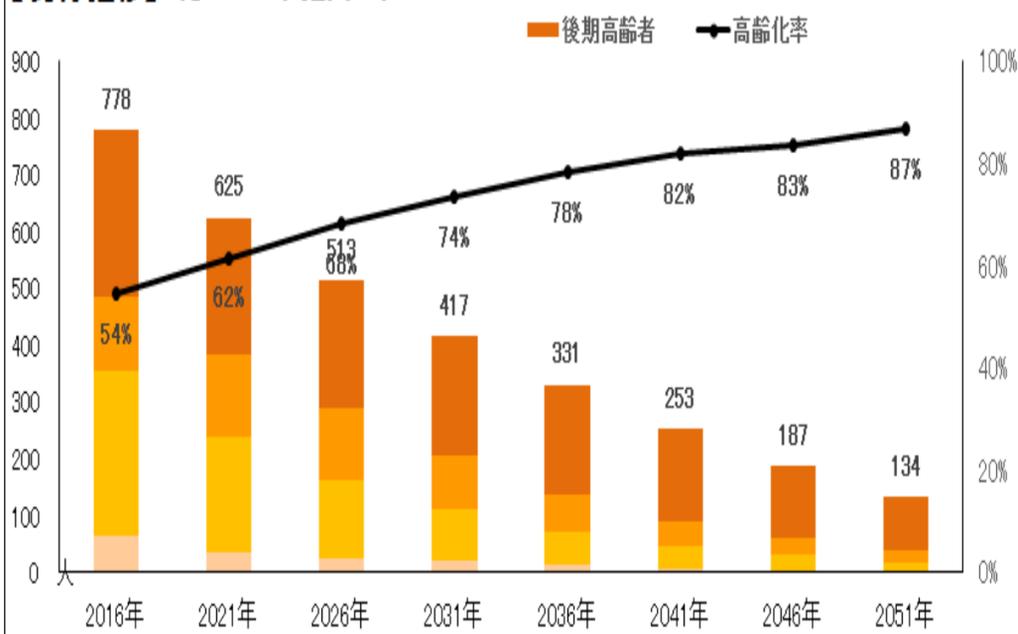
- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| ・萩の会      | ・猟友会            |
| ・みのり会     | ・ひきみ森の器工芸組合     |
| ・まとば加工所   | ・人権、同和教育推進協議会   |
| ・萬葉乃古衣    | ・青少年健全育成協議会     |
| ・メイズ      | ・安全推進委員協議会      |
| ・ウッドペッカー  | ・少年補導員          |
| ・匹見神楽社中   | ・スポーツ推進員        |
| ・三葛神楽保持社会 | ・三葛地区水稻管理協業グループ |

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組



### ☆クリスマスシアター

#### はなちゃんのみそ汁☆

R3年12月25日に、匹見タウンホールにて、匹見3地区の公民館、匹見3地区の地域自治組織、益田市老人クラブ連合会匹見支部、匹見地区つろうて子育て協議会合同の開催で、クリスマスシアター“匹見で映画を観ようかい”を開催しました。

司会は、匹見小児童3名と匹見小学校社会教育コーディネーター1名の4名で、進行をしました。

この上映会は「食」を通して、家族の団らん・健康・命の大切さなどを実感するきっかけとして、多世代対称に開催しました。よって、高齢者から乳児まで、たくさんのかたにご来場いただきました。

上映前には、匹見中学校総合文化部による箏の演奏、匹見ジュニアによる太鼓の演奏。会場には、“匹見のおみそ汁アンケート”として、味噌汁の具材に見立てたイラストを貼った模造紙を会場の壁に貼り、好きな具材のイラストにシールをつけてもらうアンケートも実施しました。多数の方にアンケート回答をいただきました。

上映会終わりに、地域の方が作った手作りのみそ玉を、参加者に配りました。サンタも来訪しました。

### 【団体長メッセージ】

今年もコロナ禍での活動となり、残念ながら、予定していた活動をすべて行うことはできませんでした。このような状況ではありますが、次年度は会員同士の繋がりを大切にしながら、匹見上地区でしかできない事を会員のみんなで取り組んでいけるといいと思います。

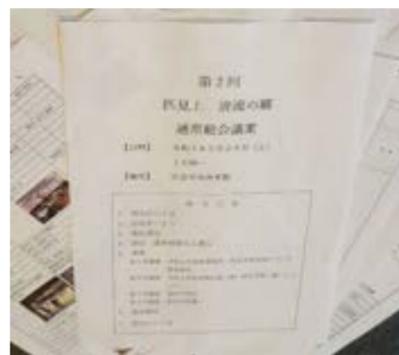


# 島根県益田市匹見上地区

## ⑤こんなことが話し合われています。



**★委員会★**  
今年度も魅力発信、支援、環境保全の全てにおいて協議することが出来ました。  
第2回通常総会について何度も協議を行いました。  
連合自治会長との意見交換会も行いました。



**★通常総会★**  
第2回匹見上清流の郷通常総会は、R3年5月29日に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、書面決議のみとなりました。  
すべての議案について過半数の賛成をいただき、可決されました。



**★魅力発信★**  
◎便りの発行  
今年度は、匹見上清流の郷のイベント開催や研修会開催のお知らせに利用しました。  
ポロシャツの販売促進に繋がったのも、便りでの宣伝の効果があったからだと思います。



**★魅力発信★**  
◎ポロシャツ作成・販売  
ポロシャツで地域自治組織の発信だけでなく、匹見上地区全体の発信、匹見上地区に興味をもってもらえるように作りました。第2弾までの売り上げ枚数は97枚でした。  
←プリント場所は、上から順に、背中、右胸、左袖。



グループに分かれて

**★支援★**  
◎カルチャー教室  
生活を楽しく便利にするアプリと題して開催しました。  
防災に関するアプリの紹介では、参加者の防災意識を高める良い機会となりました。



煙火花火購入の様子

**★環境保全★**  
◎鳥獣駆除用煙火保安手帳講習◎  
新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、受付のみでの講習完了となりましたが、更新・新規取得あわせて、43名の方が受付をしました。  
鳥獣被害対策研修会をR4年3月12日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止としました。次年度は、ぜひ開催し、多数の参加をいただきたいと思います。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています。



百歳体操in匹見保健センター



きのこ狩りの様子



捕獲した猪

百歳体操in匹見上公民館終了後  
カフェ&箏の生演奏



食用きのこ

わさびご飯ときのこ汁



箱罾



百歳体操を毎週金曜日に、現在は、匹見中央と紙祖集落が主に集まって行っています。参加は20名程度です。  
新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、何度か中止になりましたが、タウンホールの改修に伴い、匹見保健センターや、匹見上公民館での開催もありました。  
百歳体操終了後に、匹中総合文化部の“箏の生演奏”を聞きながら、匹小の夏休み期間を利用した、ワクワク体験(公民館事業)で、児童が作ったお菓子を食べる“カフェ”を開催しました。

10月3日、裏匹見峡レストパークにて開催しました。地区内外から今年も多数の参加をいただきました。  
講師に直接指導していただきながら、きのこを採る方、自由に散策しながらきのこを採る方、様々でした。  
採ったきのこの食用、不食についての勉強会も行いました。食用きのこについては、当日、きのこ汁にして食べました。きのこ汁と一緒に配布されるワサビ漬けが乗ったご飯も人気です。

田畑や農作物を荒らす、動物たちの駆除を目的として、箱罾の貸し出しをしています。  
現在では、2基保有しており、年度末には2基購入予定で、4基保有となり、対応できる数が増えます。  
貸出期間について、6ヶ月契約から1年契約に規約を改正しました。稲刈後の、目撃情報が最も多くなる時期に捕獲できるようになり、成果が出やすくなると言われています。  
現在、3頭捕獲の報告が出ています。住民の困りごとに、協力、対応していきたいです。

お問い合わせ先

**【匹見上 清流の郷】**  
事務局:匹見上公民館  
住所:〒698-1211 益田市匹見町イ674  
電話:0856-56-1144  
FAX:0856-56-0932  
E-mail:csc-hikimikami@city.masuda.lg.jp

# 島根県益田市匹見下地区

地域づくりのテーマ: ささえ愛 笑顔がつくる いいの里



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口 224人、高齢化率 69.2% (令和4年1月末時点)

### 【地区の魅力】

三つ子山を代表とする豊かで美しい山林や、穿入蛇行の見られる清流匹見川が流れ、その山あいには赤瓦の点在する山村が見られます。

その中で自然と共存し、力強く生きる、素朴で優しい人たちが、わさびなどの山菜や自然の恵みを育みながら、互いに助け合って築いてきた人情味あふれる地域です。

### 【地区の課題】

過疎と高齢化が一層進み、未耕作地や山林の放置が広がり、それとあわせて有害鳥獣の被害も増えています。また、地域を担う次世代の不足で地域の運営にも大きな支障が出ています。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

匹見下いいの里づくり協議会

### 【設立年月日】

平成28年4月24日

### 【構成団体、構成員】

- ・各連合自治会(4) 澄川寿会、内谷寿会
- ・各自治会(17) 関係団体(17)
- ・匹見下猟友会 賛助会員(個人)
- ・高齢者サロン(3)

◎構成44団体の代表者や個人会員を代議員として、この代議員で3つの委員会を作り、協議会の事業に取り組む。

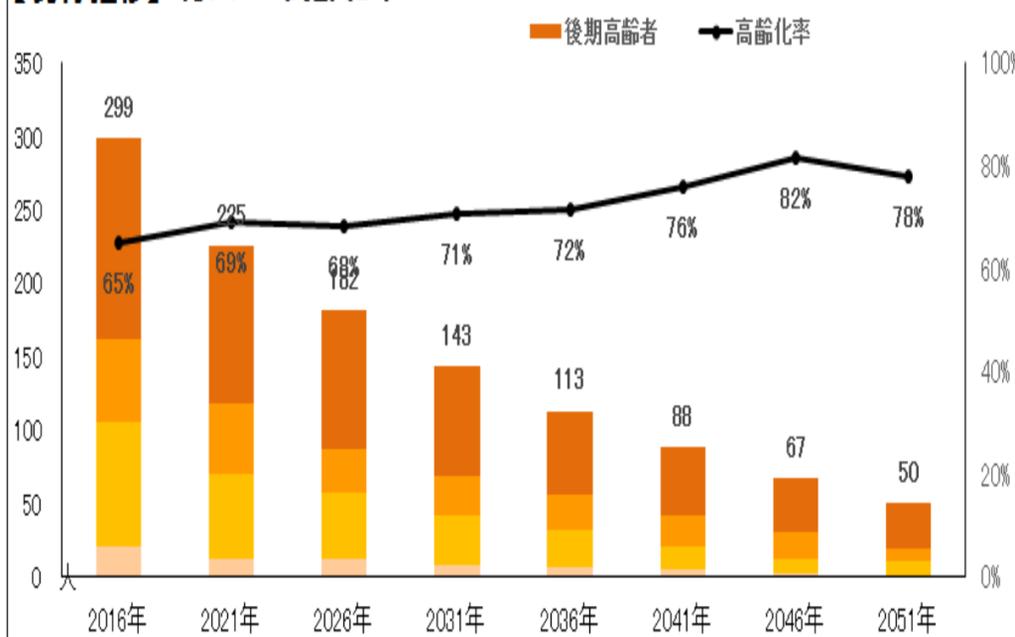
- ・「地域活性化委員会」
- ・「健康福祉委員会」
- ・「生活環境委員会」

## 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016-2021)

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

- ・地域の子供たちの成長と、地域住民のうるおいづくり  
「いいの里っ子塾」や映画・芸能・美術等の鑑賞
- ・地域住民の健康と交流の場づくり  
100歳体操やグラウンド・ゴルフの定期開催。年2回の体力測定や専門家による健康講演会の実施。
- ・人とのつながりを大切に、思いやる心を育む地区のイベント  
「地区民運動会」「ふるさと祭り」「盆踊り」など
- ・地域資源を利用した世代間交流や他地域の団体との交流  
「とちの実交流会」「明誠キャリアサポート」など
- ・匹見町(匹見上、匹見下、道川)3地区と協力した取り組み  
「産業文化祭」、「匹見峡ロードレース」、「わがまち自慢フェア」、「温泉活用」、各種「講演の共催」など
- ・鳥獣被害対策の実証実験  
「サル侵入防止用電牧柵」設置、地区をあげての「動物駆除用花火の追い払い実験」
- ・防災対策として「消火器、火災警報器、告知放送端末」点検

## 【団体長メッセージ】

新型コロナウイルスのため、活動が大幅に自粛されていますが、できる活動は皆様の御協力で行えることに感謝します。高齢化は進みますが広い地域です。高齢者は知識と知恵の、そして広い地域は豊かな財産です。それを誇りにし、若者はそれを糧にして、共にぬくもりのある地域づくりをしませんか……



# 島根県益田市匹見下地区

## ⑤こんなことが話し合われています。



昨年引き続きコロナ禍でのスタートとなりましたが、今年は地域の方が出席しての総会が開催されました。今年度より新たな5カ年計画がスタートしました。過疎化や高齢化に伴い、地域の身の丈に合った事業を行おうと大幅な見直しを行い、全員の拍手をもって承認されました。



令和3年10月7日に益田市人権センターで「自治組織座談会」が行われ協議会から山崎会長、小野副会長、応援隊の藤原の3名が出席しました。市内20地区のうち18地区が参加し、それぞれの地区の紹介や現状など、また今後の交流のあり方について意見交換しました。



令和3年5月17日に「市長と語る会」が2年ぶりに開催されました。コロナ禍で密を避け、マスク着用で行われました。出席者は地域のひとが10人と少なめでしたが、市の方針や今後の展望など、活発な意見交換がされました。



令和3年9月11日に有害鳥獣駆除用花火の講習会を行いました。昨年引き続き新型コロナ感染予防のため講習会は中止となりましたが、更新手続きは行いました。当日は31名の方が更新手続きに来られ、匹見下地区でも新たに新規取得者が1名おられました。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています。

### 「いいの里っ子塾」開催



リム回しの様子



竹灯籠作り(1)

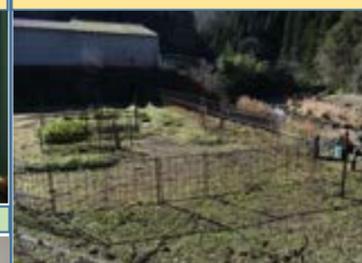


認知症講演会の様子



小原さん講演の様子

### 環境の整備



サル侵入防止用電牧柵



竹灯籠作り(2)



竹灯籠作り(3)



社協匹見支所の寸劇



認知症予防体操



昼食 カレーライスです



ポン菓子作り



澄川先生(歯科)の講演



オーラルフレイル講演会



消火器・家庭用火災報知器・告知放送端末の点検様子

### 地域活性化委員会

令和3年12月26日に「いいの里っ子塾」を開催しました。この事業は過疎により地域から減少していく子供たちに、この地域に昔、行われていた遊びや伝統文化を通して交流し、子供たちの成長に協力しようと3年前から行っています。

当日は、あいにくの雪模様でしたが、5組の親子に参加して頂き、今では目にする事の無くなった昔の遊びや、親子での竹灯籠作り、懐かしいポン菓子作りなどを体験しました。

お昼は地域の方が作ってくれたカレーライスを頂き、一日を楽しくすごしました。

### 健康福祉委員会

令和3年11月4日に「認知症予防」のための健康講演会を、令和3年11月18日に口腔ケア「オーラルフレイルとは？」という講演会を開催しました。「認知症予防」は小原さんによる講演と社協匹見支所による寸劇、認知症予防のための体操などをおこないました。また「オーラルフレイルとは？」では匹見歯科診療所の澄川先生に講演をお願いし、健康と要介護の中間(フレイル)について口腔ケアの観点からお話ししていただきました。どちらの講演会も、地域の方の関心が高く、多くの方に参加して頂きました。

### 生活環境委員会

第2期の新規事業としてサル被害防止の「電牧柵の設置」を、地域の方の畑を借り、実証実験を開始しました。

又、土井ノ原地区において有害鳥獣追払い用花火の有資格者による追払い実験をはじめました。結果ができれば2年目以降も実施予定です。

更に、新規事業として「消火器・火災報知器・告知放送端末の点検」を行いました。これは家庭にある防災機器等の電池切れや、期限切れなどを点検し、いざという時に使えるようにと行いました。今年度は石谷地区で実施しましたが、来年度は他地区で行う予定です。

お問い合わせ先

☆匹見下いいの里づくり協議会☆

〒 698-1221

益田市匹見町イ327

(匹見下公民館内)

☎ 0856-56-0910

☎ Fax 0856-56-0912

# 島根県益田市道川地区

地域づくりのテーマ：輝け笑顔！ 深まれ絆！ 行くぞ道川！ ～出会い ふれあい 助け合い～ 笑顔がつなぐ明日の道川



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口118人、高齢化率59.3%（令和4年1月末日現在）

### 【地区の魅力】

歴史、文化を伝える「旧割元庄屋美濃地屋敷」を地域のシンボルとし「道の駅匹見峡」「産直市出合の里」を中心に地域の活性化を図っています。「奥匹見峡」「表匹見峡」といった景勝地を有し、四季の風情を味わうことができる自然豊かな地域で育まれた、人と人の様々なつながりが魅力です。

### 【地区の課題】

冬場の自然環境の厳しさや高齢化による生産基盤の脆弱、除雪の負担、移動手段の困窮、医療介護の不安等多々あります。

## ②地域自治組織の概要

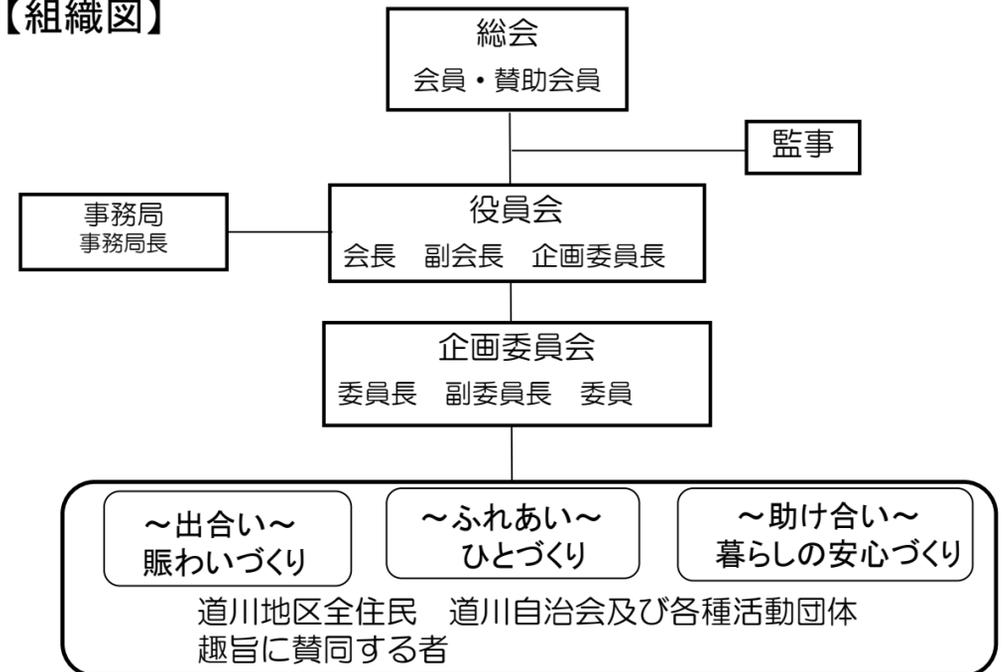
### 【組織の名称】

- ◆ 「道川地域づくりの会」

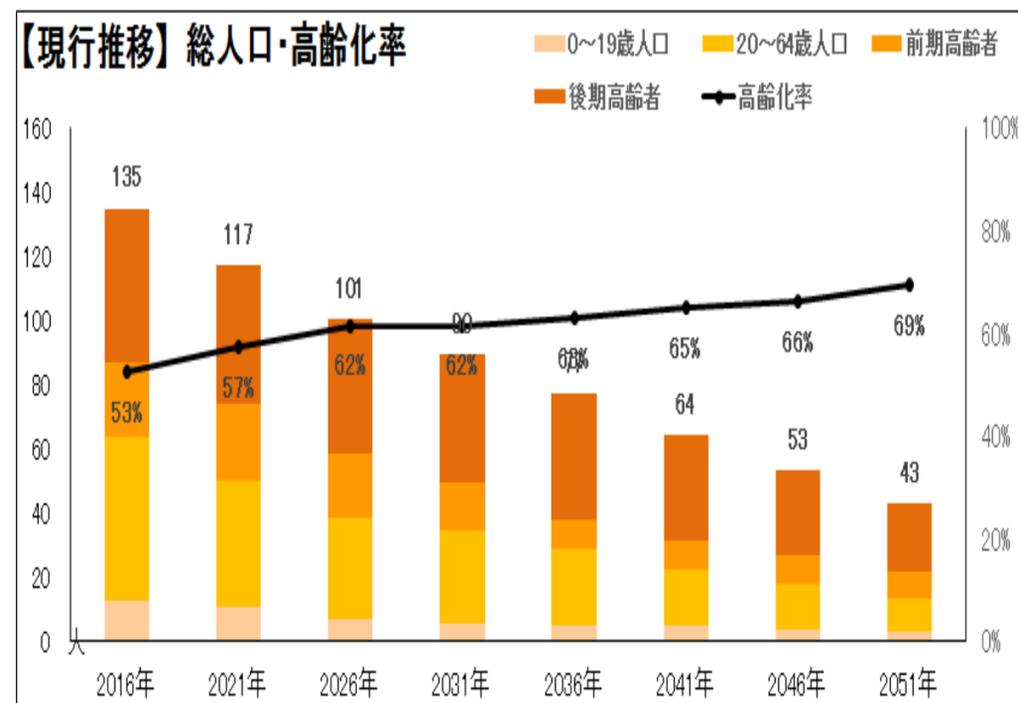
### 【会員】

- ◆ 道川地区に居住する全住民
- ◆ 道川自治会
- ◆ 地域で活動する各種団体及びグループ
- ◆ 趣旨に賛同する者

### 【組織図】



## ③地区の人口シミュレーション(2016年ー2021年)



資料：島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

恵まれた豊かな自然や特色を活かしながら、「住む人」「来る人」の出会いにより、地域の賑わいを創出し、お互いの助け合いやふれあいをとおして、いきいきと安心して暮らすことが出来る地域を目指します。

～目標を達成するための3つの取り組み～

- ◆ ～出会い～ 賑わいづくり…
  - ・人が集まる機会を創る活動
  - ・地域の宝を活かす活動
  - ・里山の景観を活かす活動
- ◆ ～ふれあい～ひとづくり)…
  - ・歴史文化をつなぐ活動
  - ・地域のつながりを育む活動
  - ・ひとりひとりの個性を育む活動
- ◆ ～助け合い～暮らしの安心づくり…
  - ・暮らしを守る活動
  - ・生活環境を守る活動

### 【道川地域づくりの会 会長メッセージ】

地区の中心部に在った古い施設(旧診療所、倉庫)の解体を行っていただき、感謝しているところです。おかげさまで、有形登録文化財である旧割元庄屋美濃地屋敷もより引き立って見えるようになりました。コロナもなかなか終息しませんが、「出来る活動はなるべくやっといこう。」と思っています。



# 島根県益田市道川地区

## ⑤こんなことが話し合われています



■4月「道川地域づくりの会」総会、年間活動計画、予算の承認、役員、企画委員改選  
《今年度第2期まちづくりプランを策定。第1期の振り返り、活動内容の見直し、継続、新規事業に取り組むうえで必要な協議を行っています》

### ★ 主な話し合いの内容

- 文化遺産を活かした地域づくりについて
- 暮らしの安心づくり 聞き取り調査実施について
  - 魅力ある景観、整備活動について
  - 里山保全及び川辺の広場維持、管理等
  - 自然と調和した地区のPRと分散型集客について
- 慢性的な人手不足がもたらす地域課題について
- 有害鳥獣対策と特産品開発を合わせ、関係人口を増やしていく取り組みについて
- 地域内交流(世代間交流)事業について
- コロナで中止とした活動を今後どう復活させるか
- 構成団体の活動状況把握、情報、課題共有
- 小学校跡地利用について



## ⑥こんな地域づくりを行なっています

### ～出会い～ 賑わいづくり



6月13日種まき 8月上旬開花

### 菊花展同時開催



「文化遺産を活かした地域づくり」  
今年度より、美濃地屋敷の屋根の葺き替えが行われています。地域のシンボルとしてますますの利活用に取り組んでいます。また、石見神楽を大きく描いた広場では、神楽のPRも兼ね、フリーマーケットを開き、猪コロッケや加工品の販売も行いました。

### ～ふれあい～ ひとづくり

#### 健康づくり



#### 生活安全教室

【学び合いの場】に積極参加  
幼児から高齢者まで住民が一堂に集い、地域の絆を深め、学び合う地域内交流事業は、今年度もすべて中止としました。健康づくり教室や各地区へ出かけての介護予防事業や生活安全教室など、公民館活動への積極的な参加を呼び掛けています。

### ～助け合い～ 暮らしの安心づくり

#### 【暮らしを守る】取り組み 第1歩！



「高齢者が暮らしやすい環境は、すべての住民にとって、将来の安心につながる。」との観点から、今年度、概ね70歳以上の方を対象に聞き取りアンケートに協力していただきました。明日につなげる仕組み作りに取り組めます。

#### 【生活安全・スマホ教室】



暮らしに不可欠ともなったスマホ！、安心安全な日常を送るために、公民館に指導してもらっています。

〒698-1201

島根県益田市匹見町道川イ133-1 清流会館  
道川地域づくりの会(事務局:益田市道川公民館内)

TEL:0856-58-0001 FAX:0856-58-0002

<http://michikawa.info>

お問い合わせ先

発行 令和4年3月

発行元 益田市政策企画局連携のまちづくり推進課

〒698-8650 島根県益田市常盤町1番1号

TEL 0856-31-0600

FAX 0856-23-7708

E-Mail : [renkei@city.masuda.lg.jp](mailto:renkei@city.masuda.lg.jp)